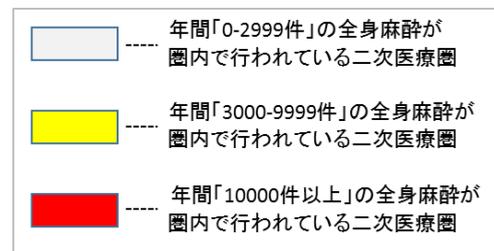
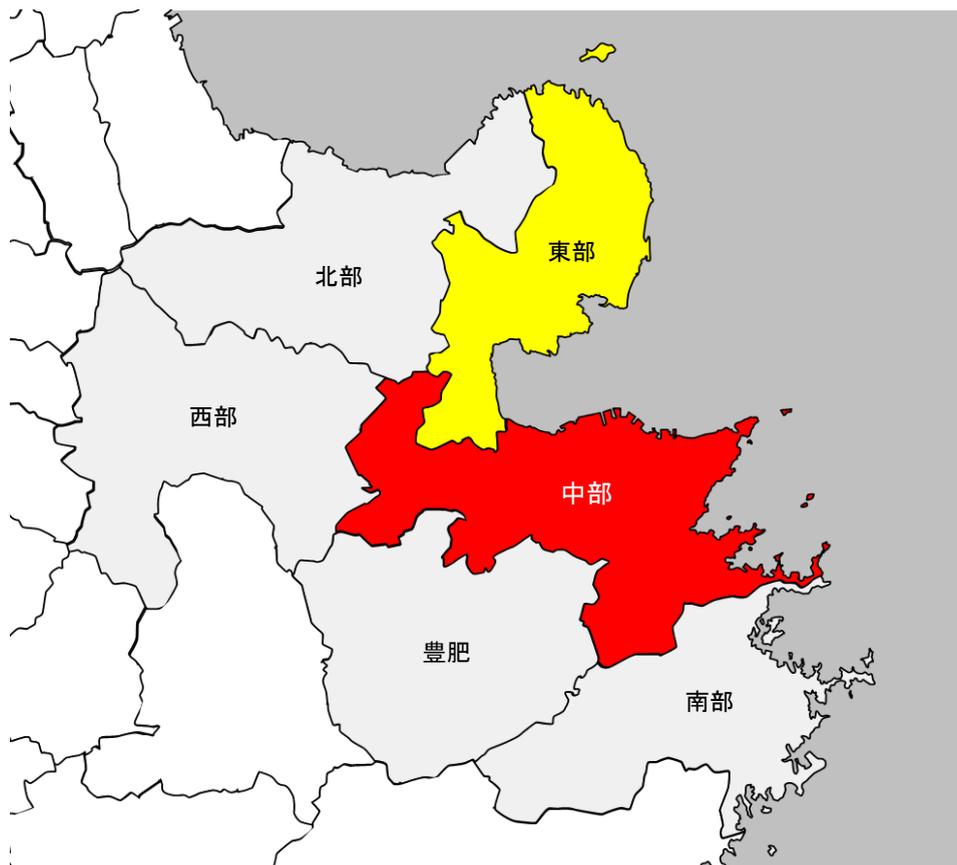


44. 大分県

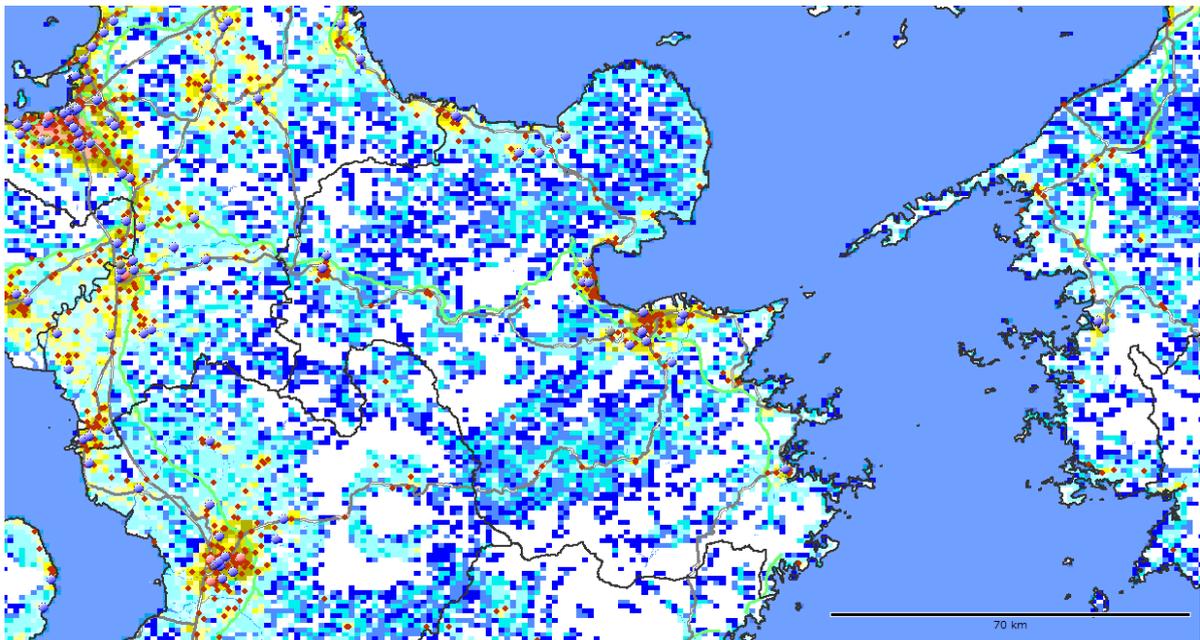


目次

大分県	44	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	44	-	8
1. 東部医療圏	44	-	20
2. 中部医療圏	44	-	25
3. 南部医療圏	44	-	30
4. 豊肥医療圏	44	-	35
5. 西部医療圏	44	-	40
6. 北部医療圏	44	-	45

44. 大分県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(大分県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大分県は、総人口約1166千人(2015年)、面積6341km²、人口密度は184人/km²である。

*人口の将来予測： 大分県の総人口は2025年に1094千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に955千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の182千人が、2025年にかけて222千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には217千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大分県の一人当たり医療費(国保)は416千円(偏差値66)、介護給付費は266千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 大分県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.97で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が54(病院医師数54、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大分県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16874人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が10883床(偏差値49)、高齢者住宅等が5991床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13856人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム48、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、2822人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大分県の総人口は、2005年1209571人が、2015年に1166338人と4%減少し、2025年の人口が1093634人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

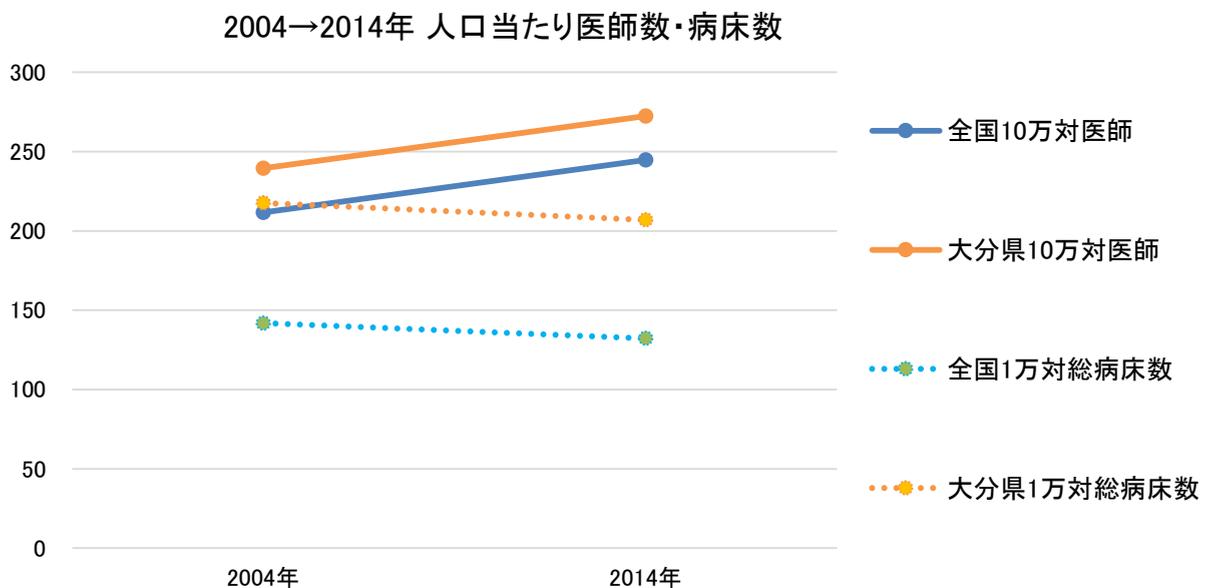
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が165(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に158(人口10万人当たり13.5病院(全国平均6.7)偏差値67)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が971(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に972(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、1診療所が増加した。

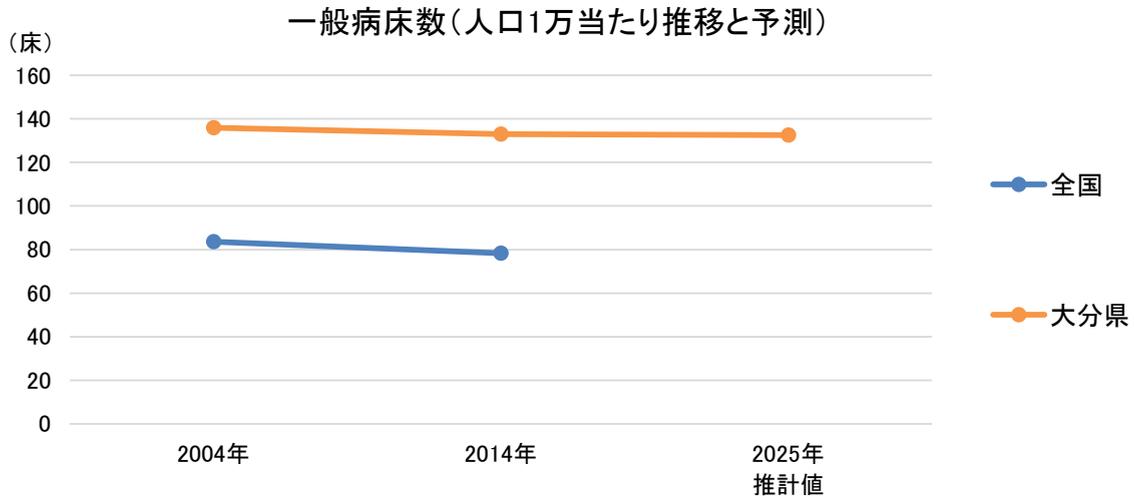
2004年の総病床数が26328床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に24141床(人口1万人当たり207(全国平均132)偏差値63)と、2187床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2898人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に3177人(人口10万人当たり272人(全国平均245人)偏差値53)と、279人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



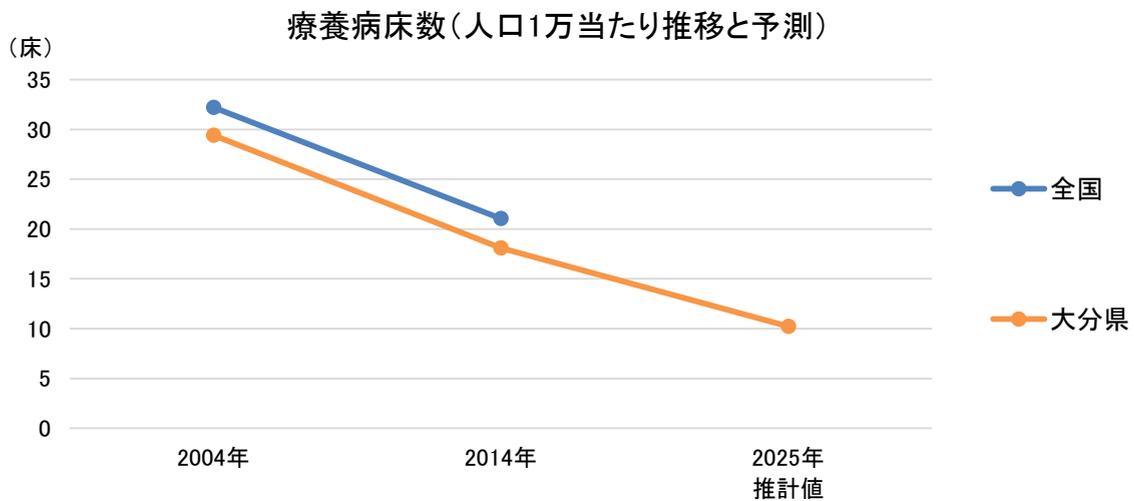
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16436床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に15511床(人口1万人当たり133(全国平均78)偏差値70)と、925床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14493床(2025年の推計人口1万人当たり133)になることが予想される。



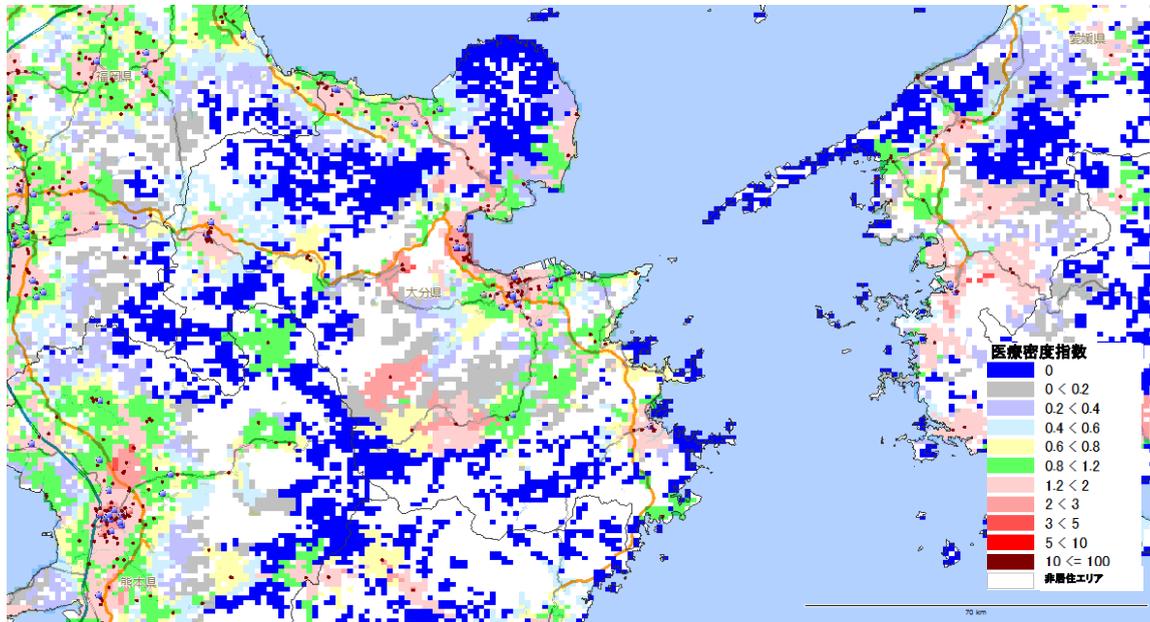
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4224床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に3293床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、931床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2269床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



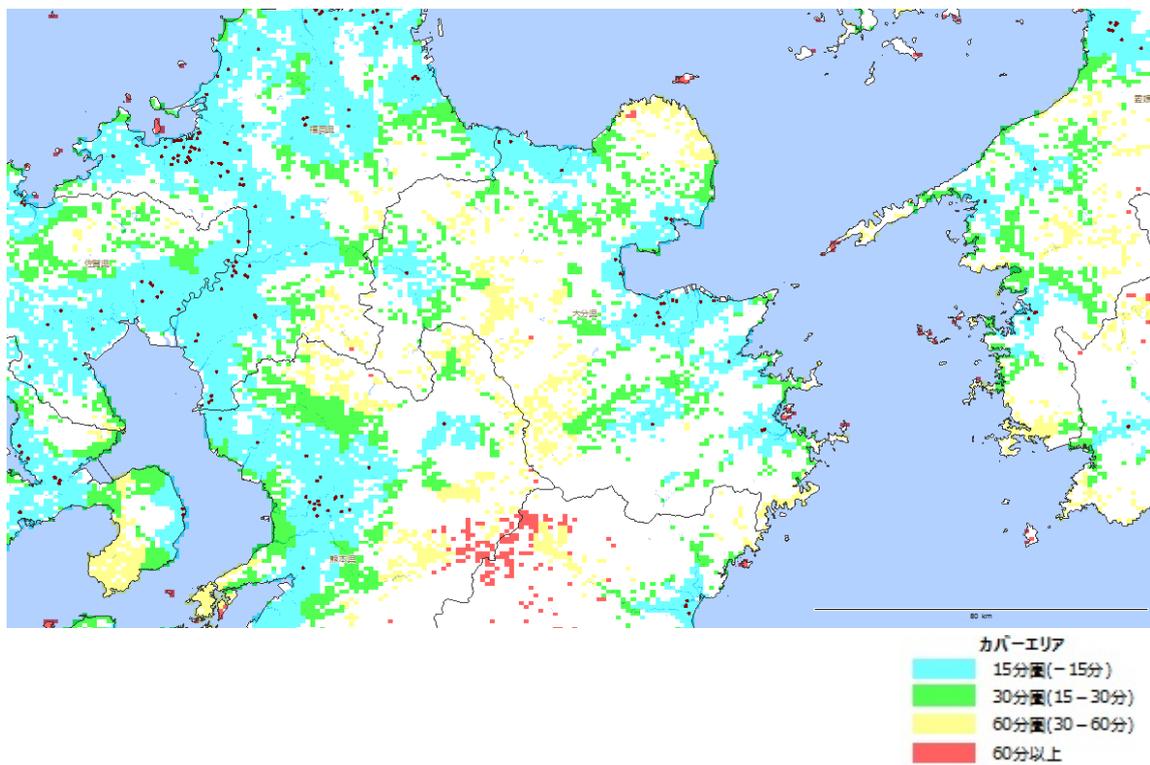
(大分県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 44-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
大分県	1,166	33位	6,341	22位	183.9		30%	1,094	955	182	222	217	-6%	-13%	22%	-2%
東部	211	18%	804	13%	262.5	地方都市型	33%	195	167	37	42	38	-8%	-14%	14%	-10%
中部	569	49%	1,192	19%	477.3	地方都市型	26%	553	504	72	99	106	-3%	-9%	38%	7%
南部	72	6%	903	14%	80.0	過疎地域型	37%	64	50	14	16	15	-11%	-22%	14%	-6%
豊肥	59	5%	1,081	17%	54.5	過疎地域型	42%	51	39	15	15	13	-14%	-24%	0%	-13%
西部	92	8%	1,224	19%	75.2	過疎地域型	34%	82	66	17	19	18	-11%	-20%	12%	-5%
北部	163	14%	1,137	18%	143.4	過疎地域型	31%	150	129	27	30	28	-8%	-14%	11%	-7%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 44-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
大分県	1.24	0.97	14,668	18,049	-23.1%
東部	1.80	0.59	3,456	3,417	1.1%
中部	1.28	1.12	5,391	8,067	-49.6%
南部	1.05	0.97	1,128	1,342	-19.0%
豊肥	0.87	1.13	1,274	1,242	2.5%
西部	0.76	1.28	1,231	1,527	-24.0%
北部	0.86	1.27	2,188	2,453	-12.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 44-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	416	66	1.155	188	69	1.373	207	60	1.044	266	54
東部	409	65	1.159	191	70	1.425	197	55	1.018	261	52
中部	418	67	1.162	183	68	1.338	213	63	1.078	262	53
南部	403	63	1.092	185	68	1.312	197	54	0.971	253	50
豊肥	447	73	1.170	202	74	1.387	224	69	1.069	318	69
西部	399	63	1.119	187	69	1.373	193	52	0.986	278	57
北部	425	68	1.146	195	71	1.376	209	61	1.024	259	52

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資_図表44-35を参照。

資_図表 44-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	157	1.9%	13.5	67	971	1.0%	83	52
東部	36	23%	17.1	75	189	19%	90	55
中部	62	39%	10.9	60	457	47%	80	50
南部	8	5%	11.1	61	60	6%	83	52
豊肥	7	4%	11.9	63	56	6%	95	58
西部	20	13%	21.7	87	77	8%	84	52
北部	24	15%	14.7	70	132	14%	81	51

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 44-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	971	1.0%	83	52	712	0.8%	61	43	259	3.3%	22.2	75
東部	189	19%	90	55	136	19%	64	45	53	20%	25.1	80
中部	457	47%	80	50	338	47%	59	43	119	46%	20.9	73
南部	60	6%	83	52	48	7%	66	46	12	5%	16.6	66
豊肥	56	6%	95	58	41	6%	70	48	15	6%	25.5	80
西部	77	8%	84	52	50	7%	54	40	27	10%	29.4	86
北部	132	14%	81	51	99	14%	61	43	33	13%	20.2	72

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資_図表 44-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
大分県	19,981	1.3%	1,713	60	4,005	3.7%	343	76	23,986	1.4%	2,057	63
東部	4,704	24%	2,229	70	846	21%	401	81	5,550	23%	2,630	74
中部	9,057	45%	1,591	57	1,841	46%	323	74	10,898	45%	1,915	61
南部	1,250	6%	1,731	60	154	4%	213	63	1,404	6%	1,944	61
豊肥	873	4%	1,482	55	256	6%	435	85	1,129	5%	1,916	61
西部	1,561	8%	1,697	59	373	9%	405	82	1,934	8%	2,102	64
北部	2,536	13%	1,555	56	535	13%	328	74	3,071	13%	1,883	60
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 44-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
大分県	11,760	1.3%	1,008	63	2,884	0.9%	247	49	5,247	1.6%	450	59
東部	2,769	24%	1,312	77	1,027	36%	487	61	850	16%	403	56
中部	5,478	47%	963	61	713	25%	125	44	2,850	54%	501	61
南部	831	7%	1,151	70	235	8%	325	53	180	3%	249	49
豊肥	500	4%	849	56	157	5%	266	50	212	4%	360	54
西部	755	6%	821	55	235	8%	255	50	567	11%	616	66
北部	1,427	12%	875	58	517	18%	317	53	588	11%	361	54
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 44-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
大分県	1,150	1.6%	99	59	1,212	2.0%	104	58
東部	332	29%	157	71	262	22%	124	62
中部	455	40%	80	55	481	40%	85	55
南部	133	12%	184	77	113	9%	156	67
豊肥	59	5%	100	59	65	5%	110	59
西部	105	9%	114	62	120	10%	130	63
北部	66	6%	40	46	171	14%	105	58
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 44-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
大分県	5,257	4,675	430	14,706	7,096	2,425	39.7%	45	15.1%	53
東部	2,121	1,743	280	2,583	1,048	725	62.5%	54	27.9%	58
中部	2,183	2,030	111	6,856	3,439	593	37.1%	44	15.8%	53
南部	260	256	0	990	575	235	30.8%	41	0.0%	46
豊肥	199	156	39	674	344	118	31.2%	41	24.8%	57
西部	204	200	0	1,357	543	247	26.9%	40	0.0%	46
北部	290	290	0	2,246	1,147	507	20.2%	37	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 44-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
大分県	26,688	0.9%	2,288	51	9,444	0.9%	810	50
東部	5,544	21%	2,627	54	1,260	13%	597	43
中部	16,020	60%	2,815	56	4,956	52%	871	52
南部	636	2%	881	37	444	5%	615	43
豊肥	648	2%	1,100	39	444	5%	754	48
西部	1,632	6%	1,774	46	924	10%	1,004	57
北部	2,208	8%	1,354	42	1,416	15%	868	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 44-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
大分県	3,565	1.0%	306	54	2,304	1.1%	198	54	1,261	1.0%	108	52
東部	737	21%	349	59	506	22%	240	61	231	18%	109	52
中部	1,892	53%	332	57	1,252	54%	220	58	640	51%	112	53
南部	172	5%	238	46	104	5%	144	46	68	5%	94	47
豊肥	154	4%	262	49	94	4%	159	48	61	5%	103	50
西部	224	6%	244	47	135	6%	147	47	89	7%	97	48
北部	387	11%	237	46	213	9%	131	44	173	14%	106	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 44-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		12.3	(6.5)			9.8	(4.5)			8.2	(3.7)	
大分県	0.7%	8.8	45	1.0%	10.5	52		0.9%	7.8	49		
東部	25%	12.3	50	20%	11.8	55		18%	7.6	48		
中部	51%	9.3	45	57%	12.3	56		63%	10.0	55		
南部	3%	4.2	37	3%	5.5	40		4%	5.5	43		
豊肥	5%	8.5	44	2%	5.1	39		2%	3.4	37		
西部	5%	5.4	39	4%	5.4	40		7%	6.5	45		
北部	11%	6.7	41	13%	9.8	50		7%	3.7	38		
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 44-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		4.2	(2.1)			7.4	(3.1)			5.9	(2.5)	
大分県	0.8%	3.5	47	0.9%	6.9	48		0.7%	4.7	45		
東部	15%	2.8	44	21%	8.1	52		16%	4.3	44		
中部	59%	4.2	50	58%	8.1	52		67%	6.5	52		
南部	2%	1.4	37	8%	8.3	53		4%	2.8	38		
豊肥	5%	3.4	46	4%	5.1	43		2%	1.7	34		
西部	2%	1.1	35	4%	3.3	37		4%	2.2	35		
北部	17%	4.3	51	6%	3.1	36		7%	2.5	37		
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 44-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.5	(3.5)			16.0	(6.9)			12.1	(4.4)	
大分県	1.1%	7.5	53	1.1%	20.1	56		1.1%	15.1	57		
東部	17%	7.1	52	24%	27.0	66		21%	17.5	62		
中部	60%	9.3	58	49%	20.0	56		55%	16.9	61		
南部	3%	4.2	43	6%	18.0	53		6%	13.8	54		
豊肥	3%	5.1	46	4%	17.0	51		4%	11.9	50		
西部	8%	7.6	53	6%	16.3	50		5%	9.8	45		
北部	8%	4.3	44	11%	15.3	49		10%	10.4	46		
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 44-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
大分県	60	1.1%	5.1	53	71	1.1%	6.1	55	61	1.2%	5.2	54
東部	8	13%	3.8	47	13	18%	6.2	55	20	33%	9.5	68
中部	37	62%	6.5	60	39	55%	6.9	58	30	49%	5.3	54
南部	3	5%	4.2	48	8	11%	11.1	76	4	7%	5.5	55
豊肥	1	2%	1.7	36	1	1%	1.7	36	1	2%	1.7	41
西部	3	5%	3.3	44	5	7%	5.4	52	1	2%	1.1	39
北部	8	13%	4.9	52	5	7%	3.1	42	5	8%	3.1	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 44-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
大分県	75	1.1%	6.4	54	15	1.0%	1.3	51	23	0.7%	2.0	46
東部	16	21%	7.6	58	4	27%	1.9	58	7	30%	3.3	54
中部	48	64%	8.4	61	8	53%	1.4	52	15	65%	2.6	50
南部	3	4%	4.2	47	1	7%	1.4	52	0	0%	0	35
豊肥	1	1%	1.7	38	0	0%	0	37	0	0%	0	35
西部	4	5%	4.3	47	0	0%	0	37	0	0%	0	35
北部	3	4%	1.8	39	2	13%	1.2	50	1	4%	0.6	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 44-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
大分県	19	1.0%	1.6	51	20	0.8%	1.7	49
東部	4	21%	1.9	53	5	25%	2.4	54
中部	13	68%	2.3	56	13	65%	2.3	53
南部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
豊肥	1	5%	1.7	51	0	0%	0	36
西部	1	5%	1.1	46	0	0%	0	36
北部	0	0%	0	37	2	10%	1.2	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 44-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
大分県	15,001	1.3%	1,286	64	12,098	1.3%	1,037	63	2,904	1.5%	249	63
東部	3,500	23%	1,658	77	2,855	24%	1,353	76	644	22%	305	71
中部	7,048	47%	1,238	63	5,622	46%	988	61	1,426	49%	250	63
南部	931	6%	1,289	64	809	7%	1,120	67	122	4%	169	52
豊肥	673	4%	1,142	59	493	4%	837	55	180	6%	305	70
西部	1,029	7%	1,118	58	864	7%	939	59	164	6%	179	53
北部	1,821	12%	1,117	58	1,454	12%	891	57	368	13%	225	60
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 44-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
大分県	2,014	1.6%	173	64	2,187	0.8%	188	46
東部	486	24%	230	75	389	18%	184	45
中部	913	45%	160	61	1,170	53%	206	48
南部	135	7%	187	66	134	6%	186	45
豊肥	118	6%	201	69	93	4%	158	42
西部	158	8%	171	63	138	6%	150	42
北部	204	10%	125	55	263	12%	161	43
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 44-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
大分県	190	1.4%	1.0	55	25	2.1%	0.1	60	139	1.3%	0.8	56
東部	37	19%	1.0	54	5	20%	0.1	60	33	24%	0.9	62
中部	111	58%	1.6	67	11	44%	0.2	63	62	45%	0.9	61
南部	7	4%	0.5	42	1	4%	0.1	49	7	5%	0.5	42
豊肥	16	8%	1.1	56	3	12%	0.2	70	7	5%	0.5	41
西部	6	3%	0.4	39	3	12%	0.2	66	8	6%	0.5	41
北部	13	7%	0.5	42	2	8%	0.1	50	22	16%	0.8	58
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 44-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シェア				シェア				シェア		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
大分県	16,874	1.0%	93	43	10,883	1.1%	60	49	5,991	0.9%	33	44
東部	4,052	24%	110	54	2,428	22%	66	54	1,624	27%	44	51
中部	6,359	38%	89	41	3,945	36%	55	45	2,414	40%	34	45
南部	1,315	8%	91	43	758	7%	53	43	557	9%	39	48
豊肥	1,295	8%	87	40	1,017	9%	68	55	278	5%	19	35
西部	1,327	8%	78	35	1,023	9%	60	49	304	5%	18	35
北部	2,526	15%	93	43	1,712	16%	63	51	814	14%	30	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 44-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シェア				シェア				シェア		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
大分県	4,692	1.3%	26	56	5,552	1.0%	31	45	639	1.0%	3.5	49
東部	952	20%	26	56	1,171	21%	32	47	305	48%	8.3	60
中部	1,771	38%	25	54	2,096	38%	29	44	78	12%	1.1	43
南部	358	8%	25	54	400	7%	28	43	0	0%	0	40
豊肥	491	10%	33	68	484	9%	32	47	42	7%	2.8	47
西部	411	9%	24	53	555	10%	33	48	57	9%	3.3	48
北部	709	15%	26	56	846	15%	31	46	157	25%	5.7	54
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シェア				シェア				シェア		
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
大分県	1,544	0.7%	8.5	45	120	0.5%	0.7	46	2,010	1.0%	11.1	48
東部	491	32%	13.4	49	100	83%	2.7	56	351	17%	9.6	46
中部	548	35%	7.7	44	20	17%	0.3	45	853	42%	11.9	50
南部	163	11%	11.3	47	0	0%	0	43	207	10%	14.4	54
豊肥	48	3%	3.2	40	0	0%	0	43	209	10%	14.0	53
西部	100	6%	5.9	42	0	0%	0	43	108	5%	6.3	40
北部	194	13%	7.1	43	0	0%	0	43	282	14%	10.3	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	2,317	1.0%	12.7	48	111	0.7%	0.6	48	2,206	1.0%	12.1	48
東部	682	29%	18.6	56	86	77%	2.3	58	596	27%	16.2	54
中部	993	43%	13.9	49	25	23%	0.3	46	968	44%	13.5	50
南部	187	8%	13.0	48	0	0%	0	44	187	8%	13.0	49
豊肥	21	1%	1.4	32	0	0%	0	44	21	1%	1.4	32
西部	96	4%	5.6	38	0	0%	0	44	96	4%	5.6	38
北部	338	15%	12.4	47	0	0%	0	44	338	15%	12.4	48
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 44-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	2,030	1.2%	11.2	54	1,493	1.3%	8.2	54	537	1.2%	2.9	51
東部	518	26%	14.1	67	393	26%	10.7	66	125	23%	3.4	56
中部	784	39%	11.0	53	502	34%	7.0	48	282	53%	3.9	61
南部	100	5%	7.0	36	80	5%	5.6	41	20	4%	1.4	34
豊肥	161	8%	10.8	52	133	9%	8.9	57	28	5%	1.9	40
西部	146	7%	8.6	43	123	8%	7.2	49	23	4%	1.3	34
北部	320	16%	11.7	56	261	17%	9.6	61	59	11%	2.2	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
大分県	16,678	1.1%	92	51	13,856	1.1%	76	50	2,822	1.3%	15.5	53
東部	3,225	19%	88	48	2,793	20%	76	50	432	15%	11.8	46
中部	7,060	42%	99	57	5,727	41%	80	53	1,333	47%	18.6	58
南部	1,116	7%	78	40	846	6%	59	35	270	10%	18.7	59
豊肥	1,324	8%	89	48	1,136	8%	76	50	188	7%	12.5	48
西部	1,638	10%	96	55	1,399	10%	82	55	239	8%	14.1	50
北部	2,315	14%	85	45	1,954	14%	72	46	361	13%	13.2	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが大分県二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
大分県	11,063	1.0%	61	48	3,871	0.9%	21	44	16,092	1.1%	88	49
東部	2,273	21%	62	49	750	19%	20	44	2,219	14%	60	40
中部	5,674	51%	79	54	1,984	51%	28	50	7,291	45%	102	53
南部	613	6%	43	42	253	7%	18	41	1,274	8%	89	49
豊肥	695	6%	46	44	258	7%	17	41	988	6%	66	42
西部	383	3%	22	36	224	6%	13	38	1,131	7%	66	42
北部	1,425	13%	52	45	402	10%	15	39	3,189	20%	117	58
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 44-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
大分県		1,209,571	1,166,338	-4%	1,093,634	-10%	7%	3%	10%
東部	地方都市型	224,841	211,019	-6%	194,977	-13%	4%	-2%	3%
中部	地方都市型	562,511	569,125	1%	552,631	-2%	14%	9%	24%
南部	過疎地域型	80,297	72,211	-10%	63,713	-21%	3%	0%	3%
豊肥	過疎地域型	68,082	58,916	-13%	50,512	-26%	-4%	-6%	-10%
西部	過疎地域型	103,549	91,991	-11%	82,278	-21%	-1%	-5%	-6%
北部	過疎地域型	170,291	163,076	-4%	149,523	-12%	3%	-2%	1%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 44-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
大分県	165	13.6	67	158	13.5	67	-7	-4%	151
東部	37	16.5	74	36	17.1	75	-1	-3%	35
中部	65	11.6	62	62	10.9	60	-3	-5%	59
南部	9	11.2	61	8	11.1	61	-1	-11%	7
豊肥	9	13.2	66	7	11.9	63	-2	-22%	5
西部	21	20.3	84	21	22.8	89	0	0%	21
北部	24	14.1	68	24	14.7	69	0	0%	24
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

44.大分県(2017年版)

資_図表 44-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
大分県	971	80	52	972	83	52	1	0%	974
東部	199	89	56	189	90	56	-10	-5%	178
中部	430	76	50	461	81	51	31	7%	495
南部	63	78	51	59	82	51	-4	-6%	55
豊肥	58	85	55	55	93	58	-3	-5%	52
西部	79	76	50	77	84	52	-2	-3%	75
北部	142	83	54	131	80	51	-11	-8%	119
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 44-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
大分県	2,898	240	53	3,177	272	53	279	10%	3,485
東部	618	275	58	649	308	57	31	5%	683
中部	1,523	271	57	1,784	313	57	261	17%	2,071
南部	150	187	47	147	204	46	-3	-2%	144
豊肥	128	188	47	105	178	43	-23	-18%	80
西部	151	146	42	157	171	42	6	4%	164
北部	328	193	48	335	205	46	7	2%	343
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 44-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
大分県	26,328	218	64	24,141	207	63	-2,187	-8%	21,735
東部	6,512	290	76	5,563	264	73	-949	-15%	4,519
中部	11,646	207	62	10,980	193	61	-666	-6%	10,247
南部	1,518	189	58	1,407	195	61	-111	-7%	1,285
豊肥	1,233	181	57	1,129	192	61	-104	-8%	1,015
西部	2,069	200	60	1,991	216	65	-78	-4%	1,905
北部	3,350	197	60	3,071	188	60	-279	-8%	2,764
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 44-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
大分県	16,436	136	68	15,511	133	70	-925	-6%	14,493	133
東部	3,878	172	81	3,514	167	83	-364	-9%	3,114	160
中部	7,417	132	67	7,287	128	68	-130	-2%	7,144	129
南部	1,029	128	66	988	137	72	-41	-4%	943	148
豊肥	787	116	61	731	124	67	-56	-7%	669	132
西部	1,235	119	63	1,108	120	66	-127	-10%	968	118
北部	2,090	123	64	1,883	115	64	-207	-10%	1,655	111
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 44-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
大分県	4,224	29	48	3,293	18	47	-931	-22%	2,269	10
東部	1,421	47	59	1,141	31	59	-280	-20%	833	20
中部	1,368	27	47	827	12	42	-541	-40%	232	2
南部	261	23	45	235	16	46	-26	-10%	206	12
豊肥	230	17	42	182	12	42	-48	-21%	129	8
西部	263	18	42	312	18	48	49	19%	366	20
北部	681	29	48	596	22	51	-85	-12%	503	17
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

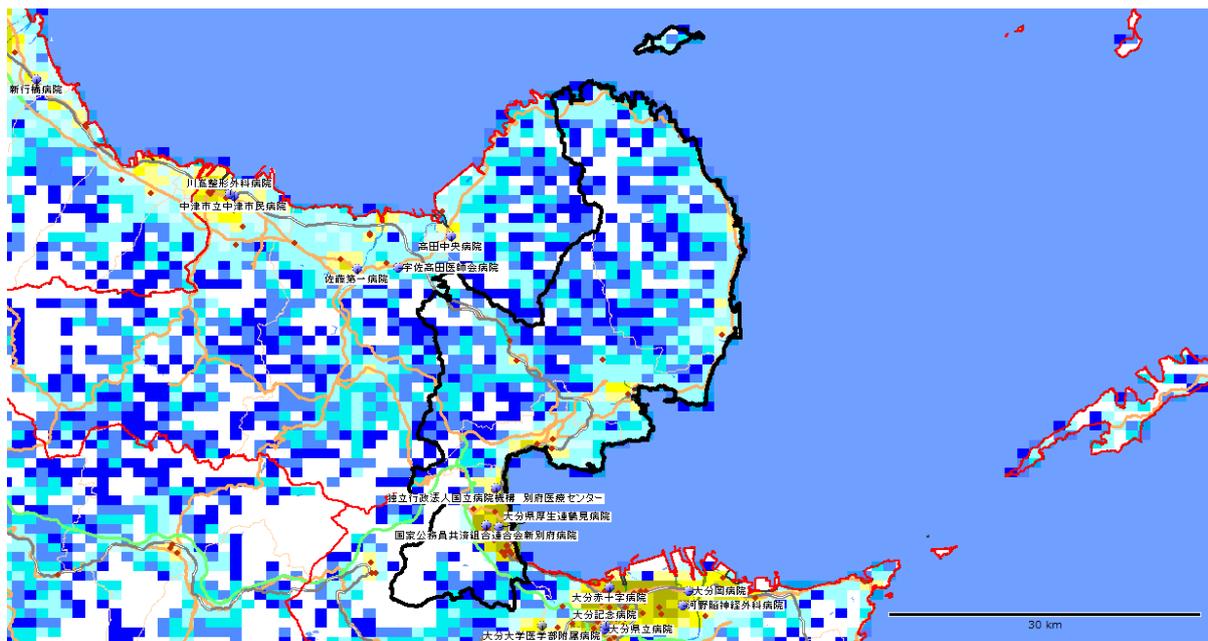
資_図表 44-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)		地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
				入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差		入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000	
大分県	1,035	58	1.109	571	61	1.229	439	49	1.010	
東部	1,069	61	1.146	614	66	1.317	430	47	0.989	
中部	1,053	60	1.140	558	60	1.219	467	56	1.079	
南部	959	52	1.027	537	58	1.157	399	40	0.914	
豊肥	1,063	61	1.134	593	63	1.249	450	52	1.043	
西部	1,013	56	1.086	585	63	1.254	405	41	0.934	
北部	986	54	1.056	547	59	1.173	415	44	0.953	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

44-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村⁹ [別府市](#) [杵築市](#) [国東市](#) [姫島村](#)
[日出町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(別府市)は、総人口約211千人(2015年)、面積804km²、人口密度は263人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に195千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に167千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて42千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には38千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値65)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.8、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.59で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が59(病院医師数61、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は77と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。東部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構別府医療センター(Ⅲ群)、500例以上の厚生連鶴見病院(Ⅲ群)、新別府病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4052人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2428床(偏差値54)、高齢者住宅等が1624床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2793人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム49、軽費ホーム56、グループホーム46、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、432人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年224841人が、2015年に211019人と6%減少し、2025年の人口が194977人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

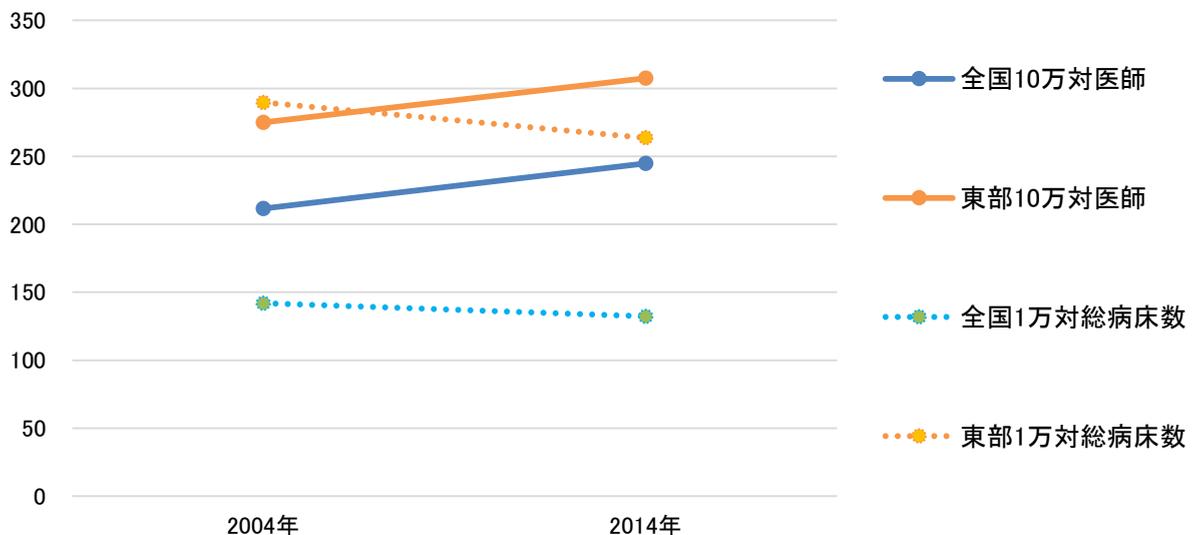
2004年の病院数が37(人口10万人当たり16.5病院(全国平均7.1)偏差値74)であったが、2014年に36(人口10万人当たり17.1病院(全国平均6.7)偏差値75)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が199(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に189(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が6512床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値76)であったが、2014年に5563床(人口1万人当たり264(全国平均132)偏差値73)と、949床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

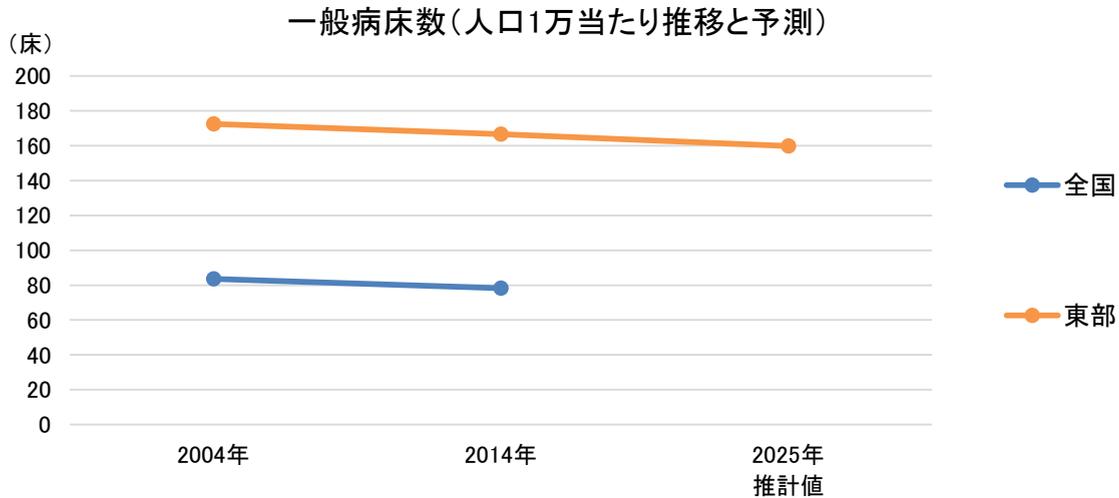
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が618人(人口10万人当たり275人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に649人(人口10万人当たり308人(全国平均245人)偏差値57)と、31人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



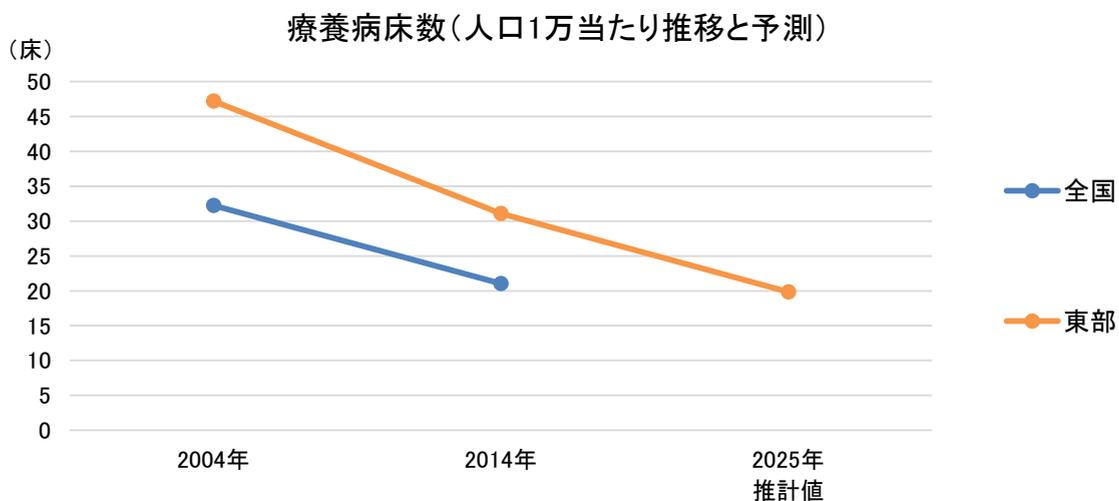
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3878床(人口1万人当たり172(全国平均84)偏差値81)であったが、2014年に3514床(人口1万人当たり167(全国平均78)偏差値83)と、364床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3114床(2025年の推計人口1万人当たり160)になることが予想される。



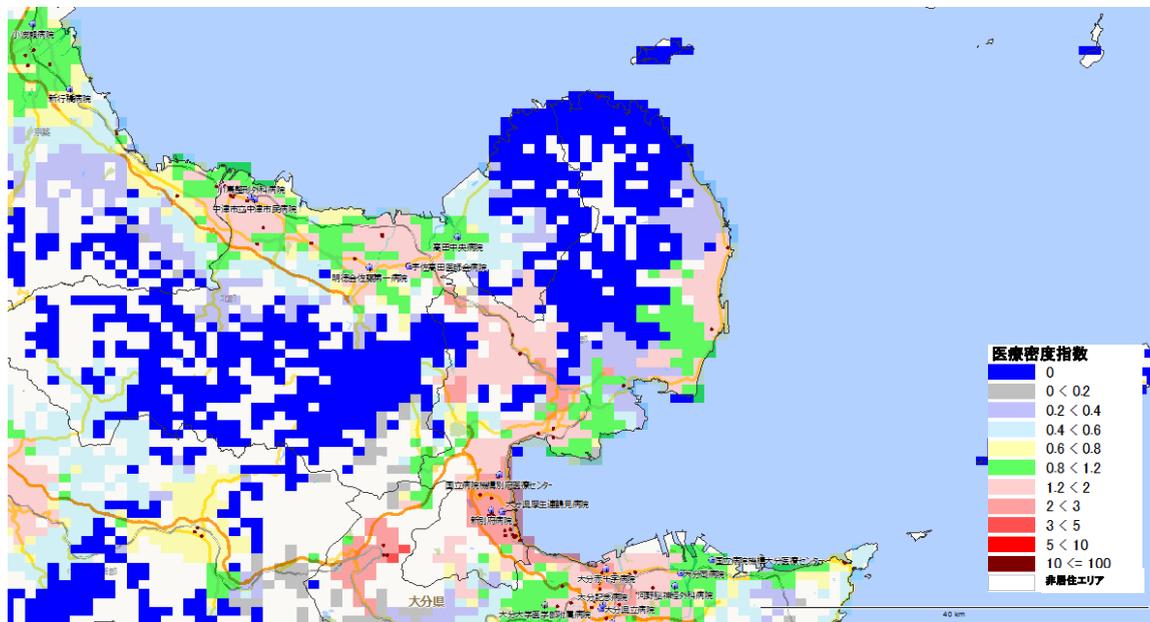
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1421床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に1141床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値59)と、280床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には833床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



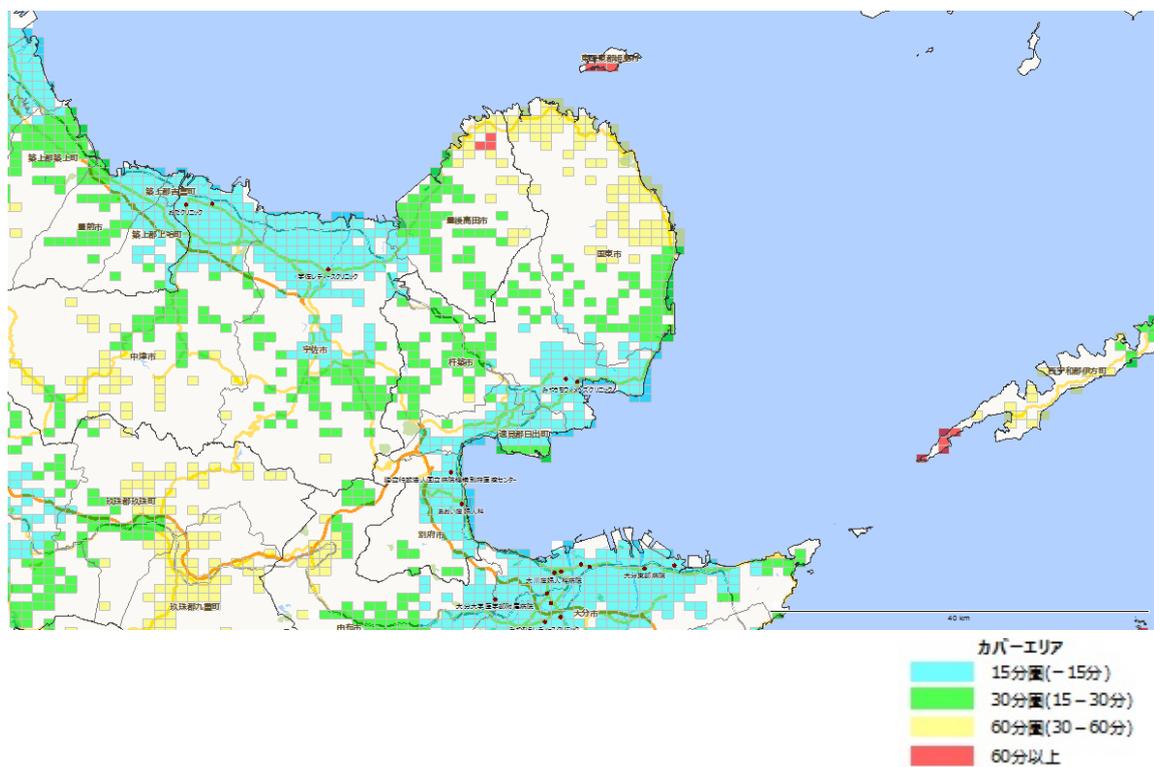
(東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

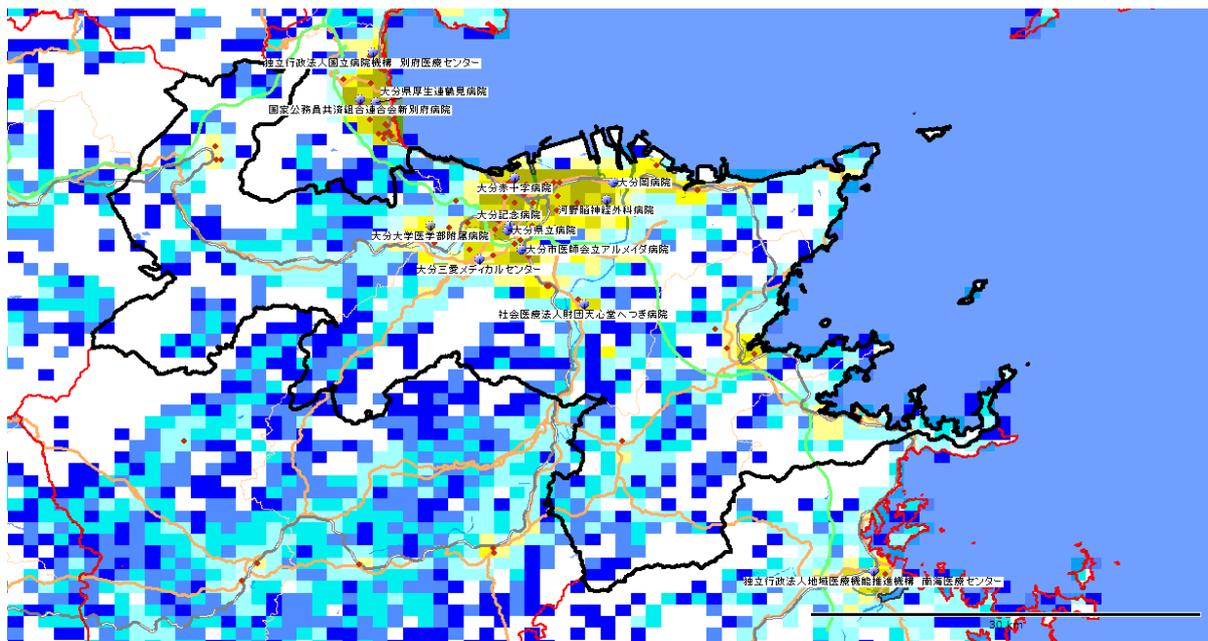
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推定値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



44-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村⁹ [大分市](#) [臼杵市](#) [津久見市](#) [由布市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(大分市)は、総人口約569千人(2015年)、面積1192km²、人口密度は477人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に553千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に504千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて99千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には106千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は418千円(偏差値67)、介護給付費は262千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.28、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.12で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が57(病院医師数58、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大分県立病院(Ⅲ群・救命)、大分大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の大分赤十字病院(Ⅲ群)、アルメイダ病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の国立病院機構大分医療センター(Ⅲ群)、大分岡病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6359人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3945床(偏差値45)、高齢者住宅等が2414床(偏差値45)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5727人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム44、軽費ホーム45、グループホーム50、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値67と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、1333人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-50%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年562511人が、2015年に569125人と1%増加し、2025年の人口が552631人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

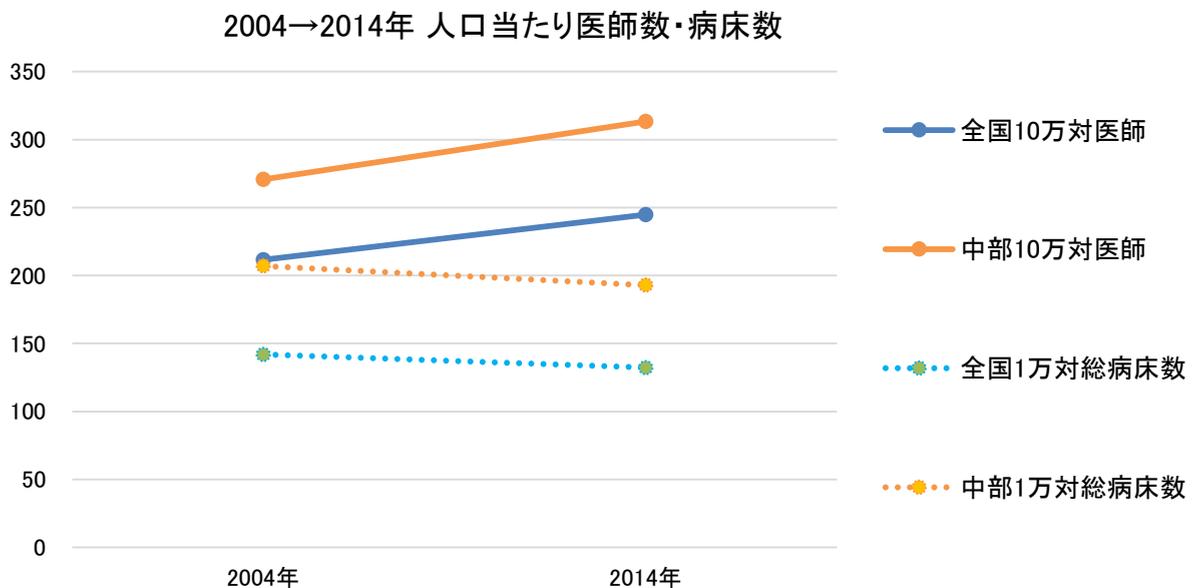
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が65(人口10万人当たり11.6病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に62(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が430(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に461(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、31診療所が増加した。

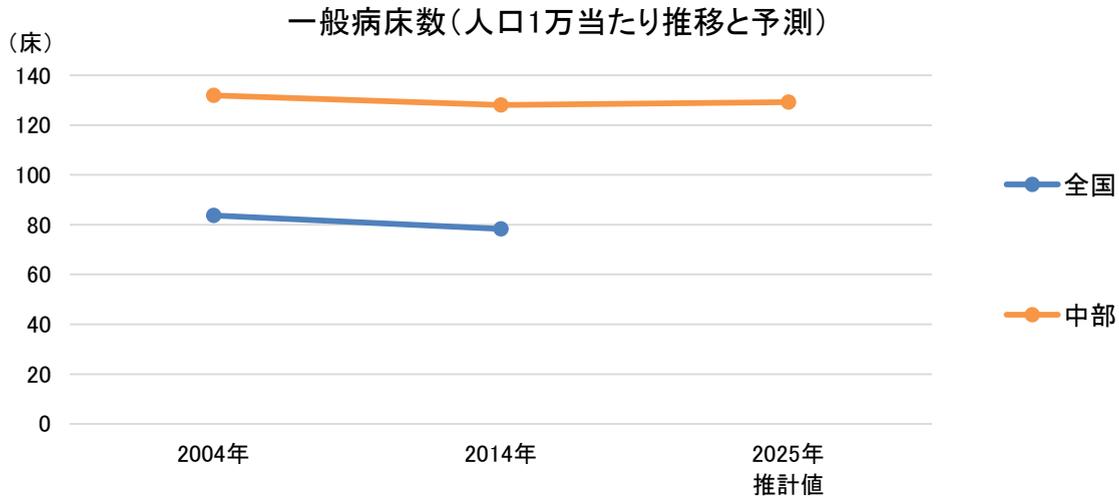
2004年の総病床数が11646床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に10980床(人口1万人当たり193(全国平均132)偏差値61)と、666床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1523人(人口10万人当たり271人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に1784人(人口10万人当たり313人(全国平均245人)偏差値57)と、261人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



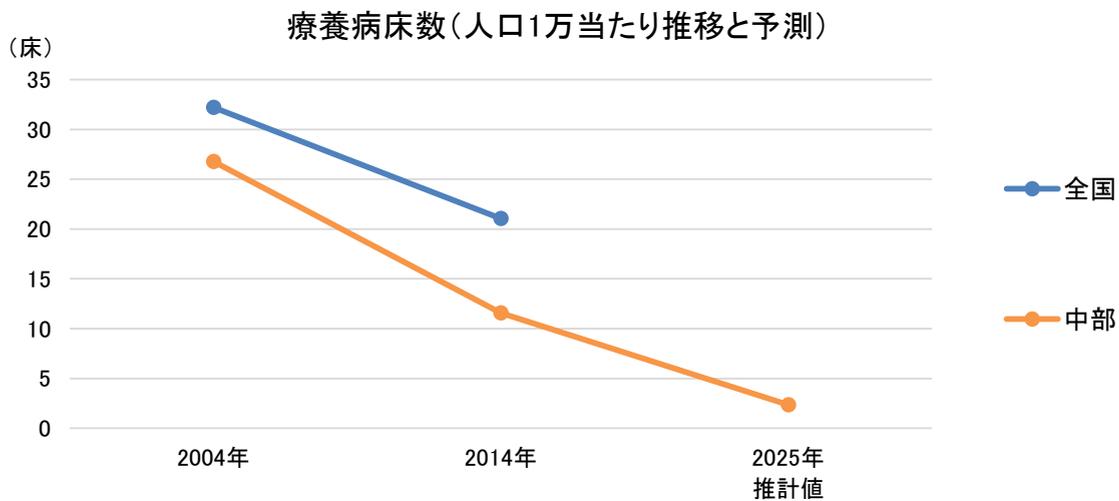
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7417床(人口1万人当たり132(全国平均84)偏差値67)であったが、2014年に7287床(人口1万人当たり128(全国平均78)偏差値68)と、130床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7144床(2025年の推計人口1万人当たり129)になることが予想される。



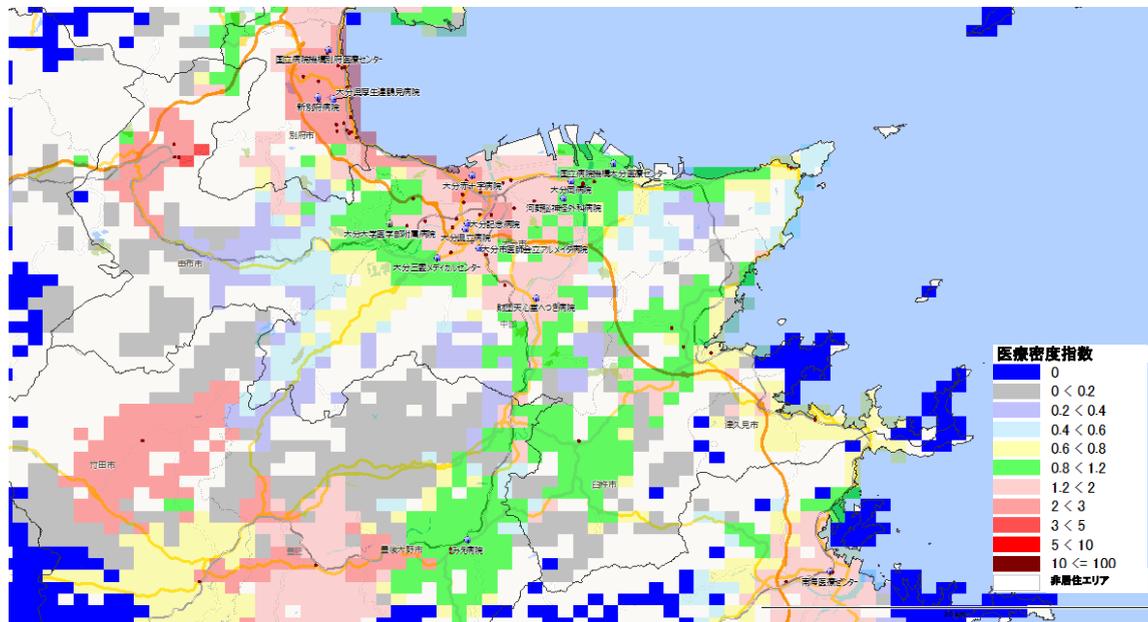
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1368床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に827床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、541床の減少、率にして40%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には232床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。



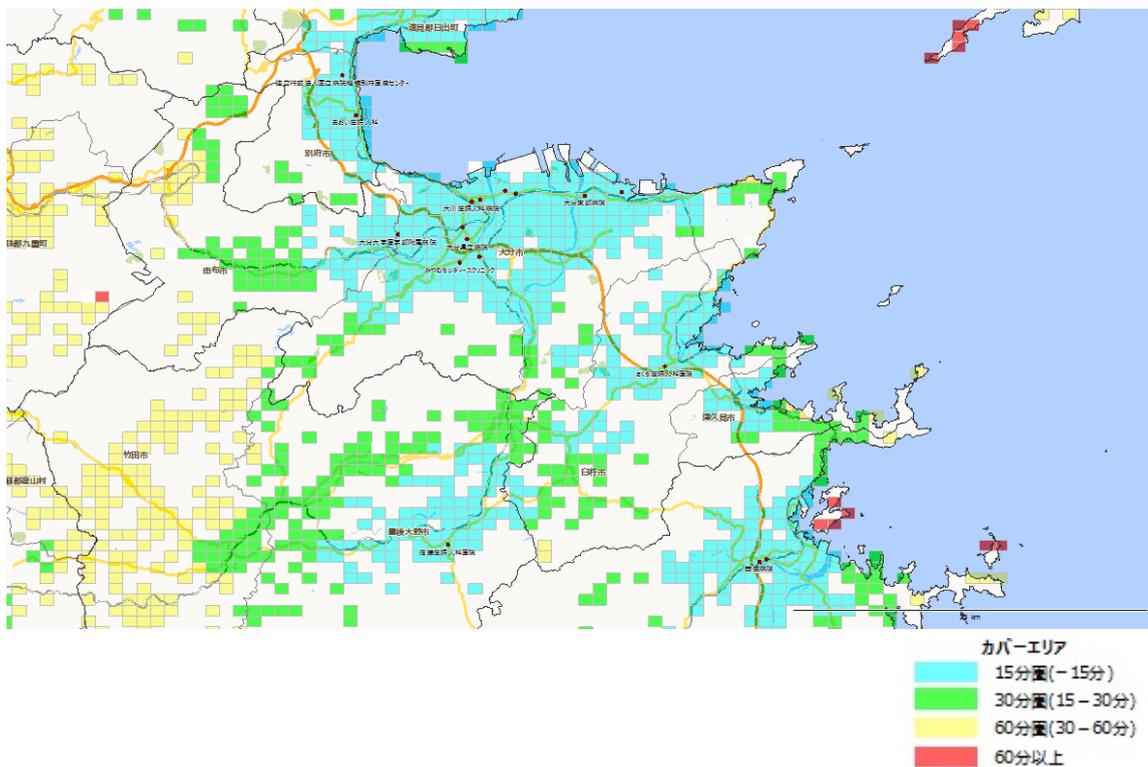
(中部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

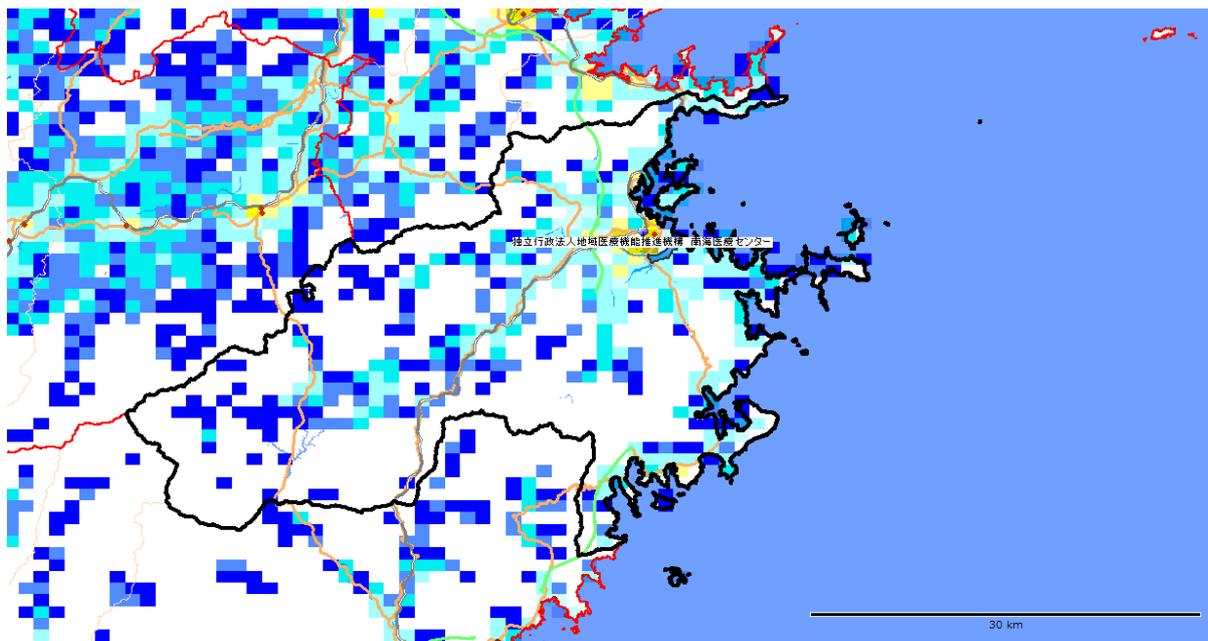
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



44-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村⁹ [佐伯市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(佐伯市)は、総人口約72千人(2015年)、面積903km²、人口密度は80人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に64千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に50千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は403千円(偏差値63)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.97で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は70で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値66と非常に多く、回復期病床数は偏差値77と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1315人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が758床(偏差値43)、高齢者住宅等が557床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、846人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、270人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年80297人が、2015年に72211人と10%減少し、2025年の人口が63713人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

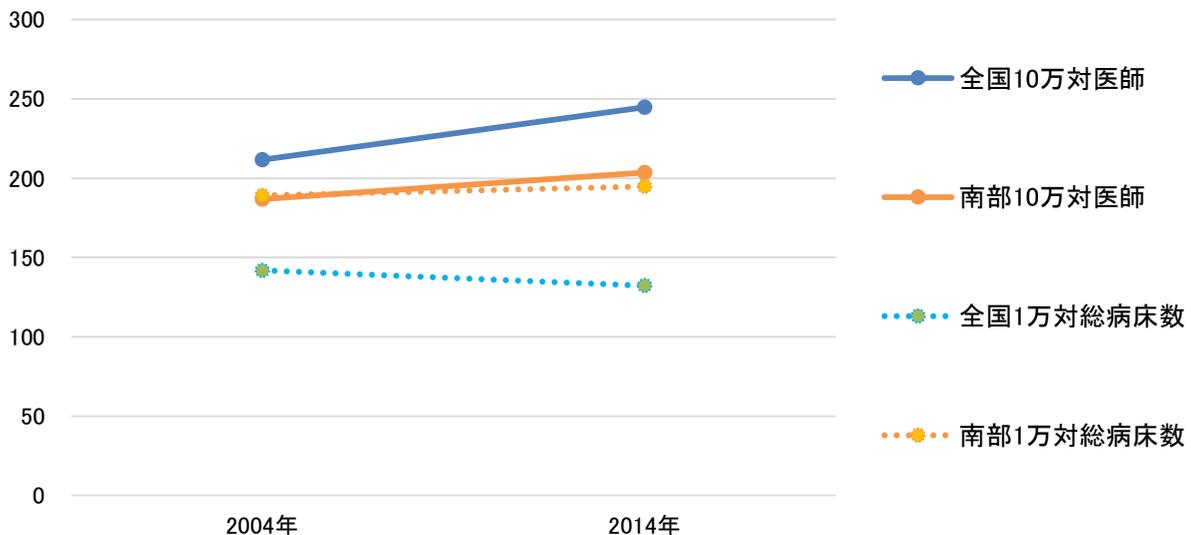
2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が63(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に59(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値51)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1518床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1407床(人口1万人当たり195(全国平均132)偏差値61)と、111床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

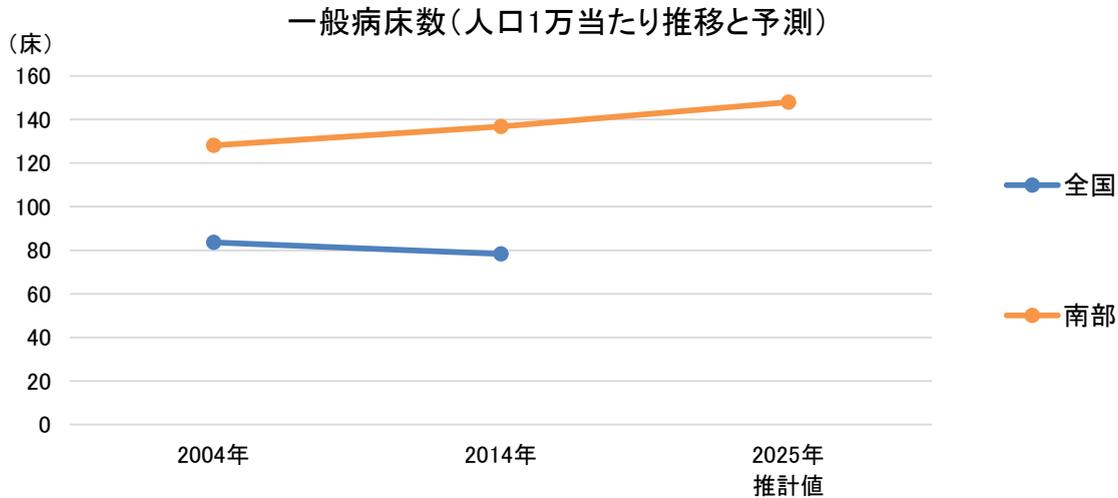
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が150人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に147人(人口10万人当たり204人(全国平均245人)偏差値46)と、3人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



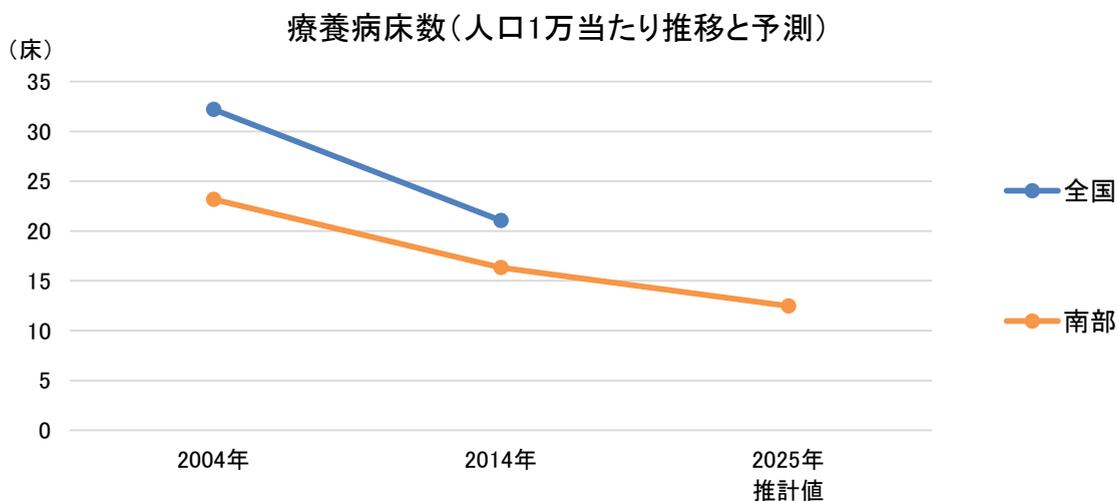
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1029床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に988床(人口1万人当たり137(全国平均78)偏差値72)と、41床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には943床(2025年の推計人口1万人当たり148)になることが予想される。



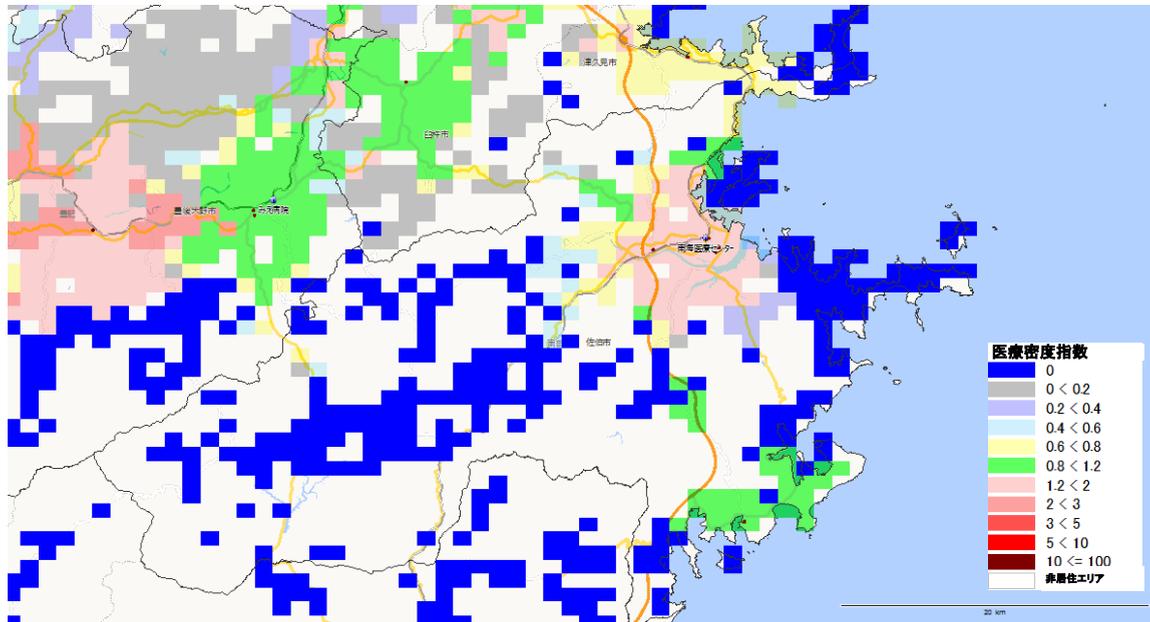
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が261床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に235床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、26床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には206床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



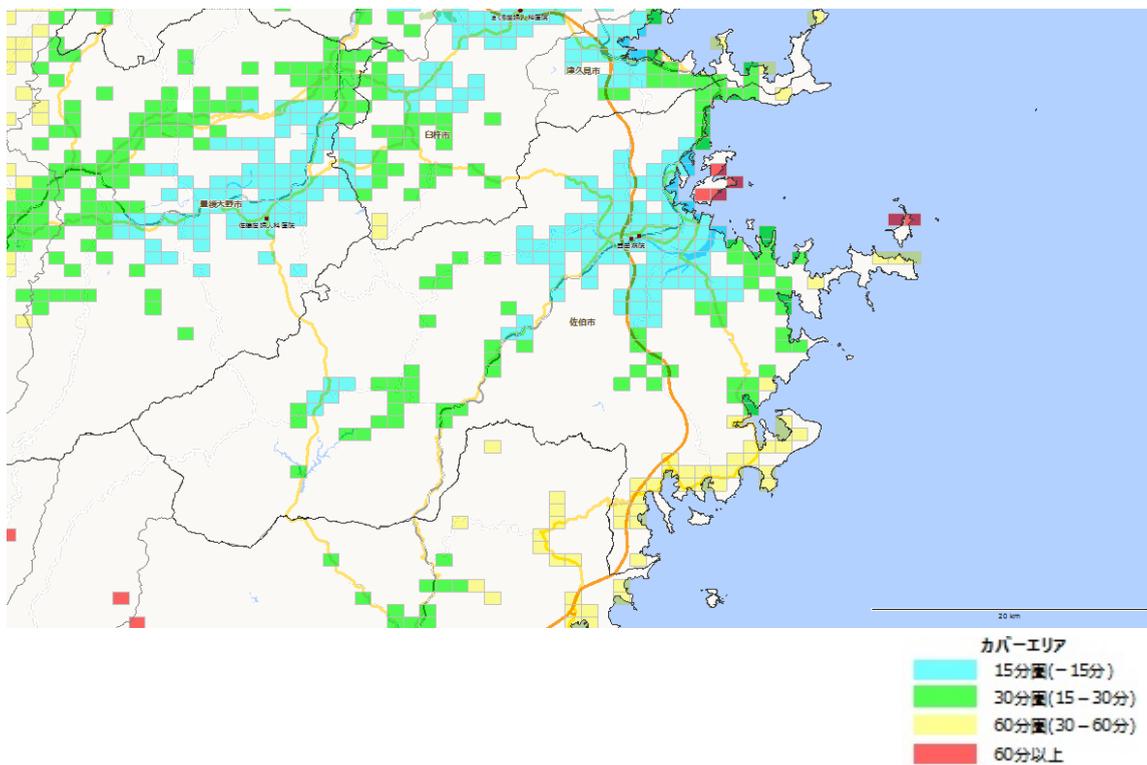
(南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

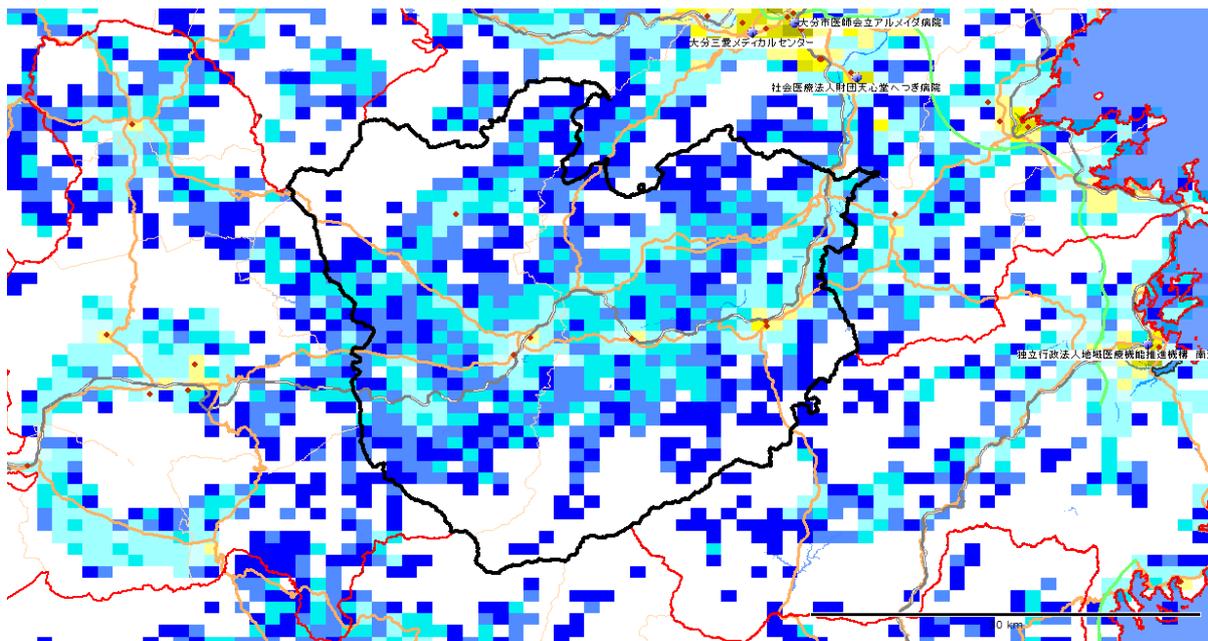


44-4. ほうひ 豊肥医療圏

構成市区町村⁹ [竹田市](#)

[豊後大野市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(豊肥医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 豊肥(竹田市)は、総人口約59千人(2015年)、面積1081km²、人口密度は55人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 豊肥の総人口は2025年に51千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 豊肥の一人当たり医療費(国保)は447千円(偏差値73)、介護給付費は318千円(偏差値69)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 豊肥の一人当たり急性期医療密度指数²は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.13で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。豊肥には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 豊肥の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1295人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1017床(偏差値55)、高齢者住宅等が278床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1136人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、188人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(豊肥医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

豊肥医療圏の総人口は、2005年68082人が、2015年に58916人と13%減少し、2025年の人口が50512人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

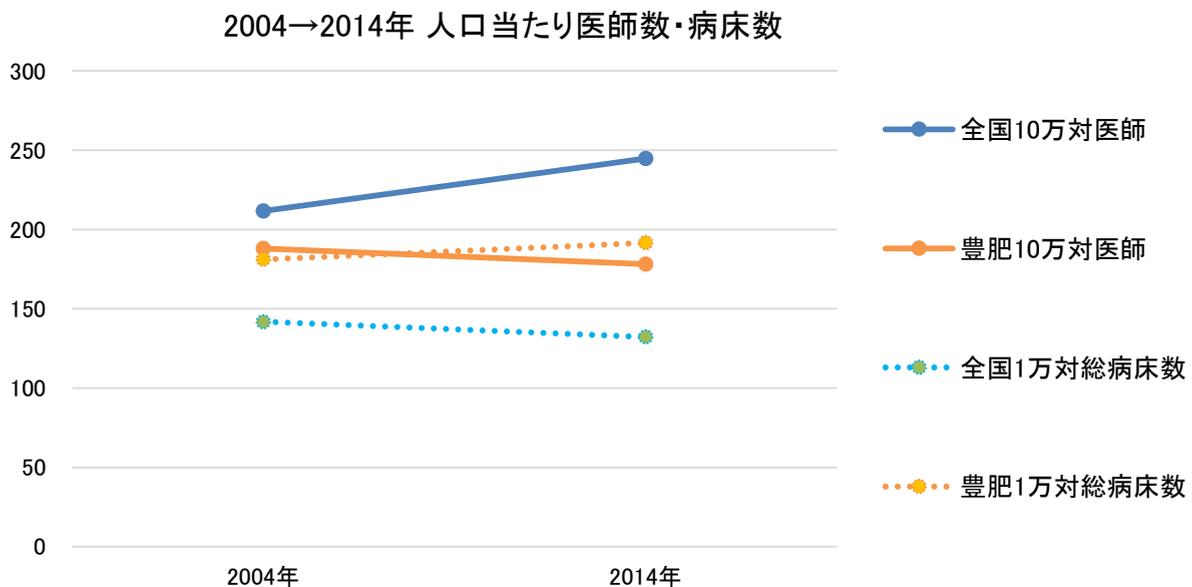
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2014年に7(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に55(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値58)と、3診療所が減少した。

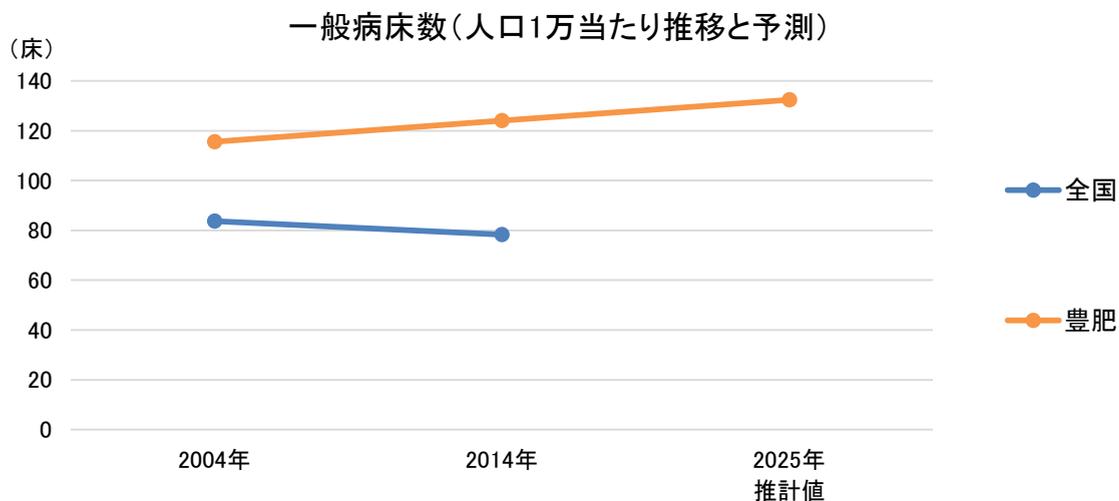
2004年の総病床数が1233床(人口1万人当たり181(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1129床(人口1万人当たり192(全国平均132)偏差値61)と、104床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が128人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に105人(人口10万人当たり178人(全国平均245人)偏差値43)と、23人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



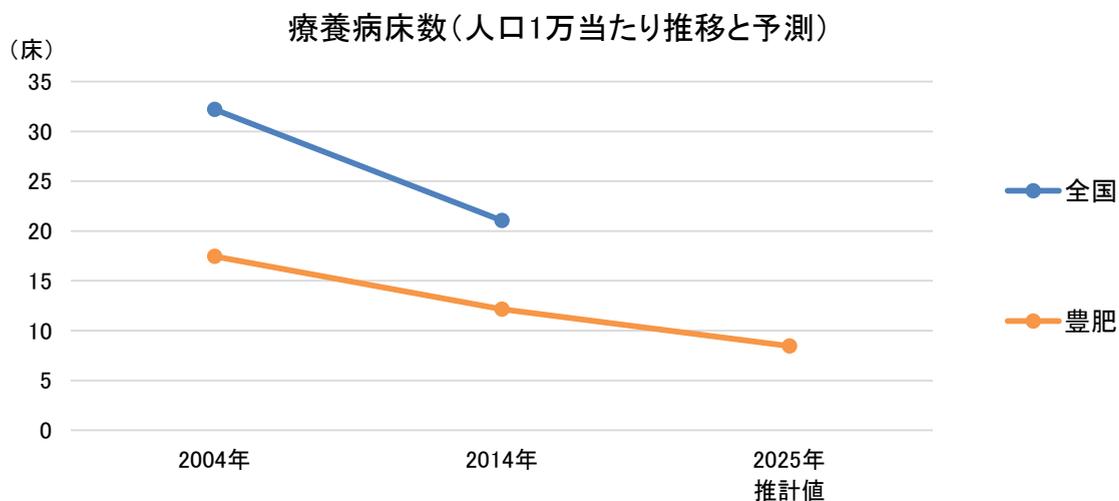
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が787床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に731床(人口1万人当たり124(全国平均78)偏差値67)と、56床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には669床(2025年の推計人口1万人当たり132)になることが予想される。



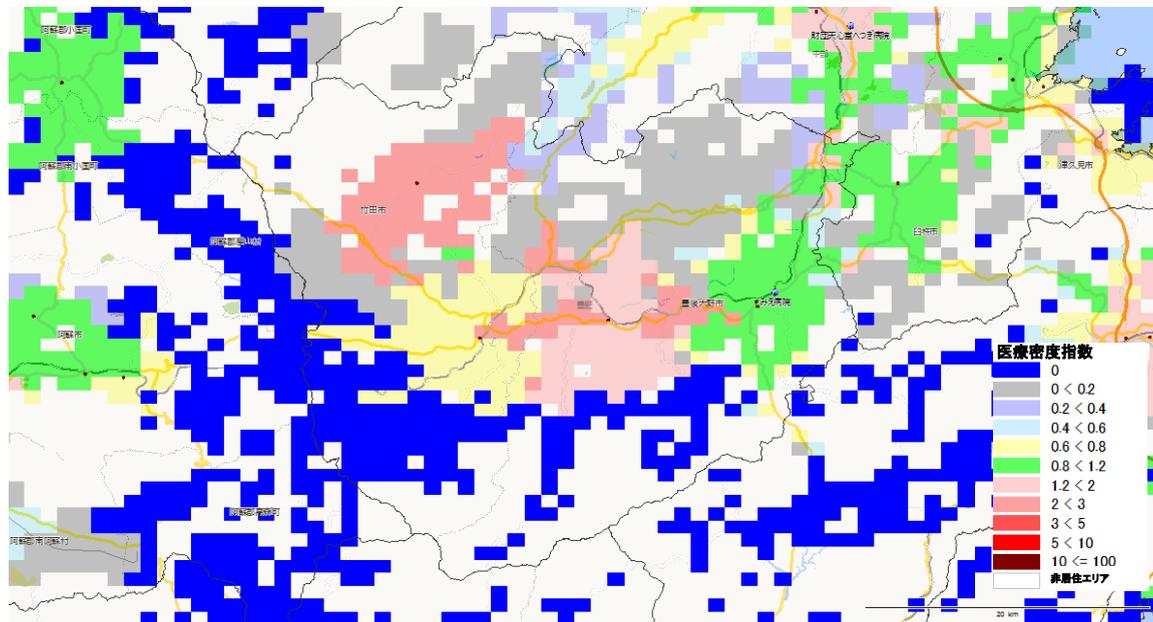
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が230床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に182床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、48床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には129床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



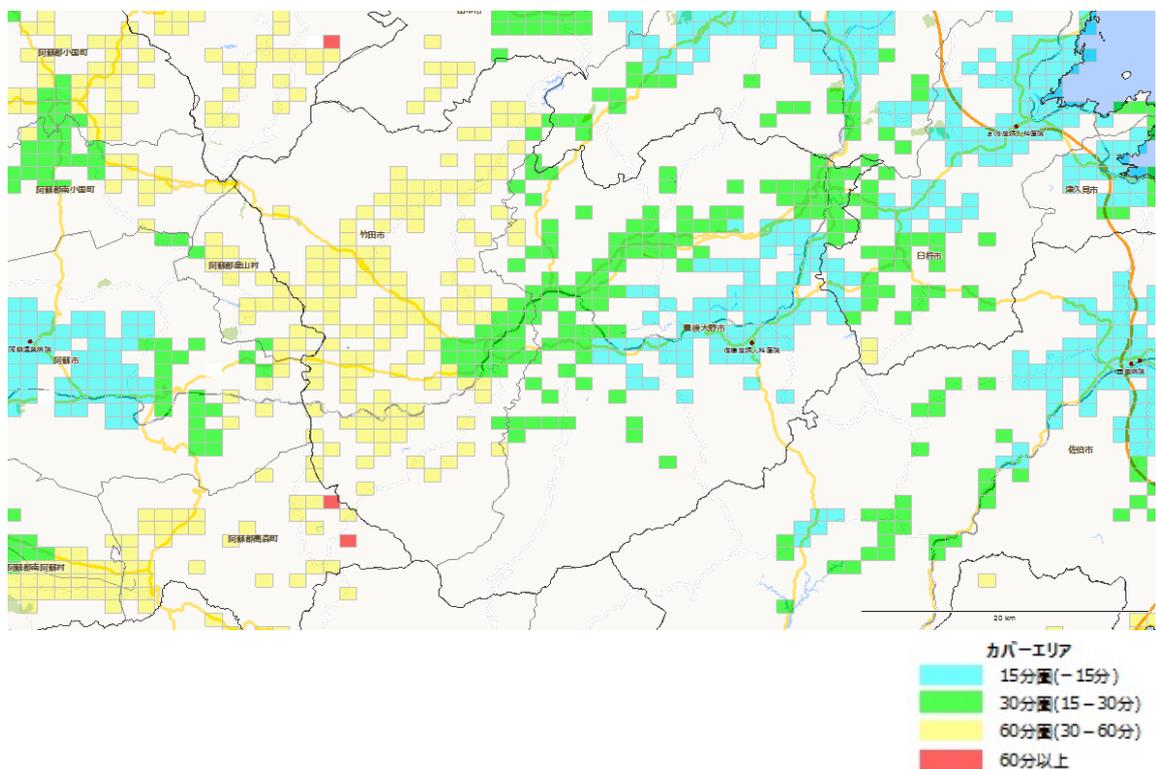
(豊肥医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

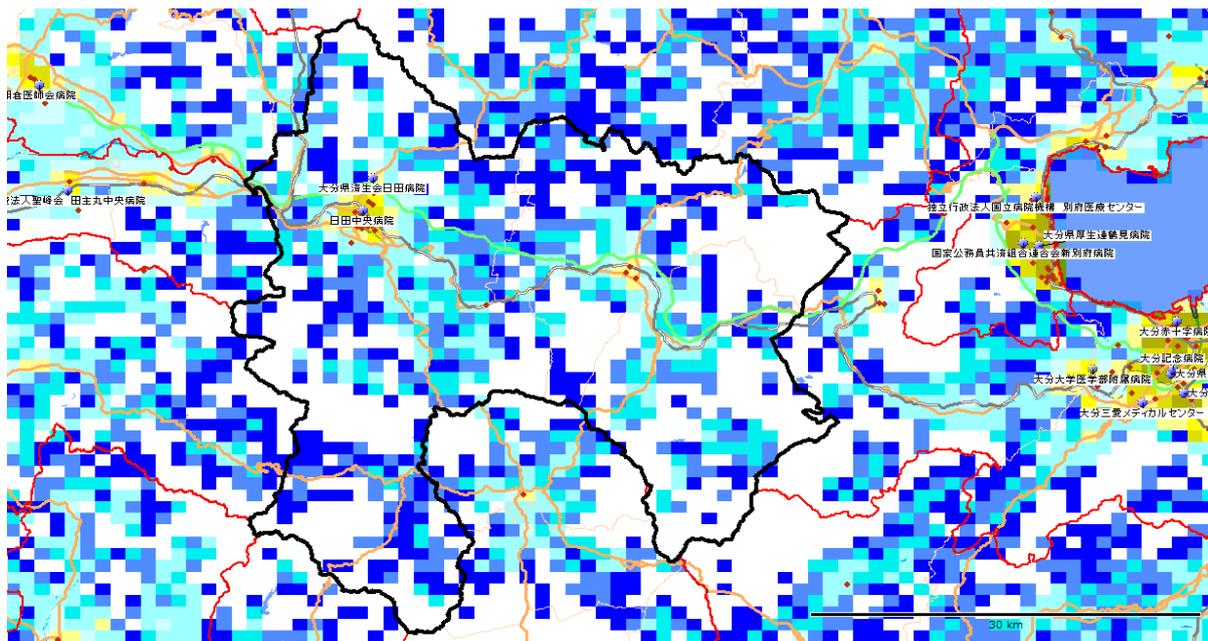
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



44-5. せいぶ西部医療圏

構成市区町村⁹ [且田市](#) [九重町](#) [玖珠町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(日田市)は、総人口約92千人(2015年)、面積1224km²、人口密度は75人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に82千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に66千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて19千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は399千円(偏差値63)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1327人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1023床(偏差値49)、高齢者住宅等が304床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1399人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住38である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、239人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年103549人が、2015年に91991人と11%減少し、2025年の人口が82278人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

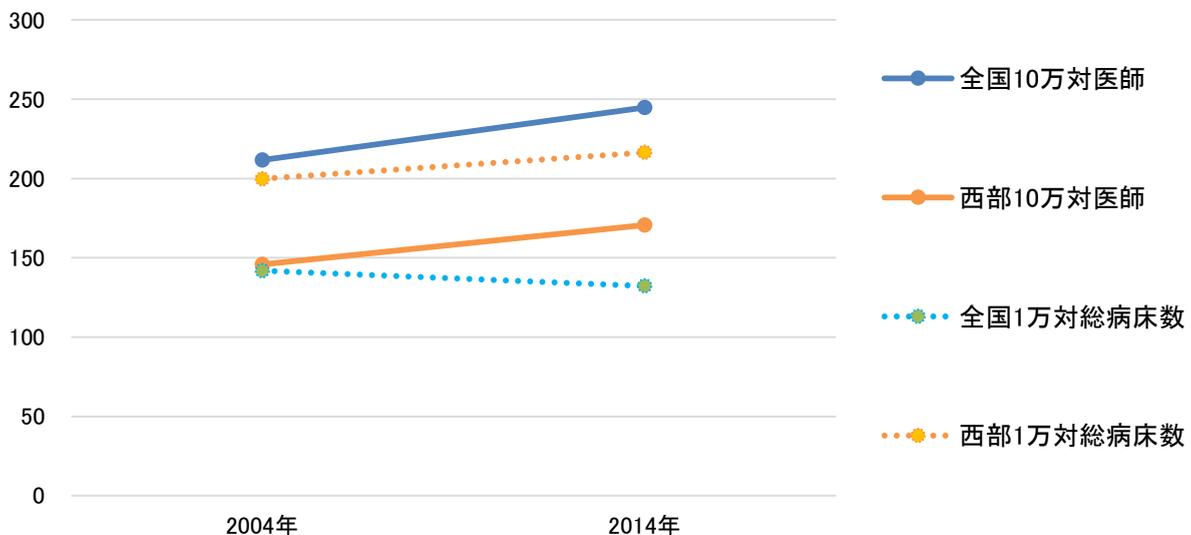
2004年の病院数が21(人口10万人当たり20.3病院(全国平均7.1)偏差値84)であったが、2014年に21(人口10万人当たり22.8病院(全国平均6.7)偏差値89)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に77(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値52)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2069床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1991床(人口1万人当たり216(全国平均132)偏差値65)と、78床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

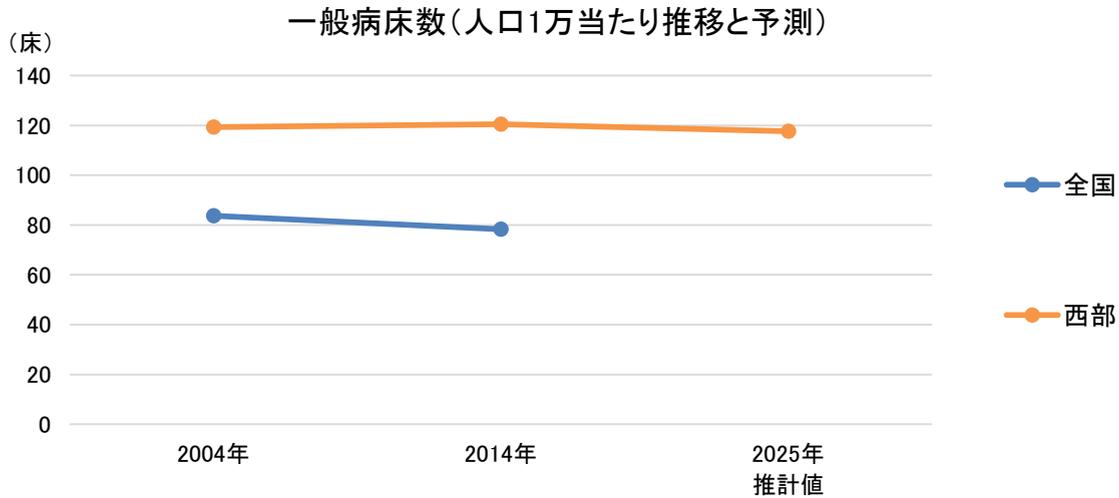
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が151人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に157人(人口10万人当たり171人(全国平均245人)偏差値42)と、6人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



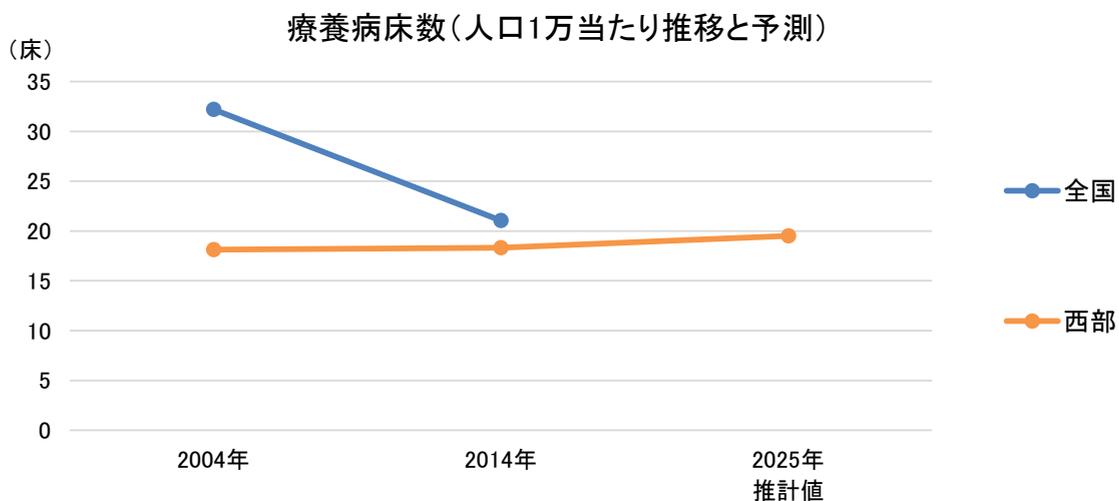
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1235床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に1108床(人口1万人当たり120(全国平均78)偏差値66)と、127床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には968床(2025年の推計人口1万人当たり118)になることが予想される。



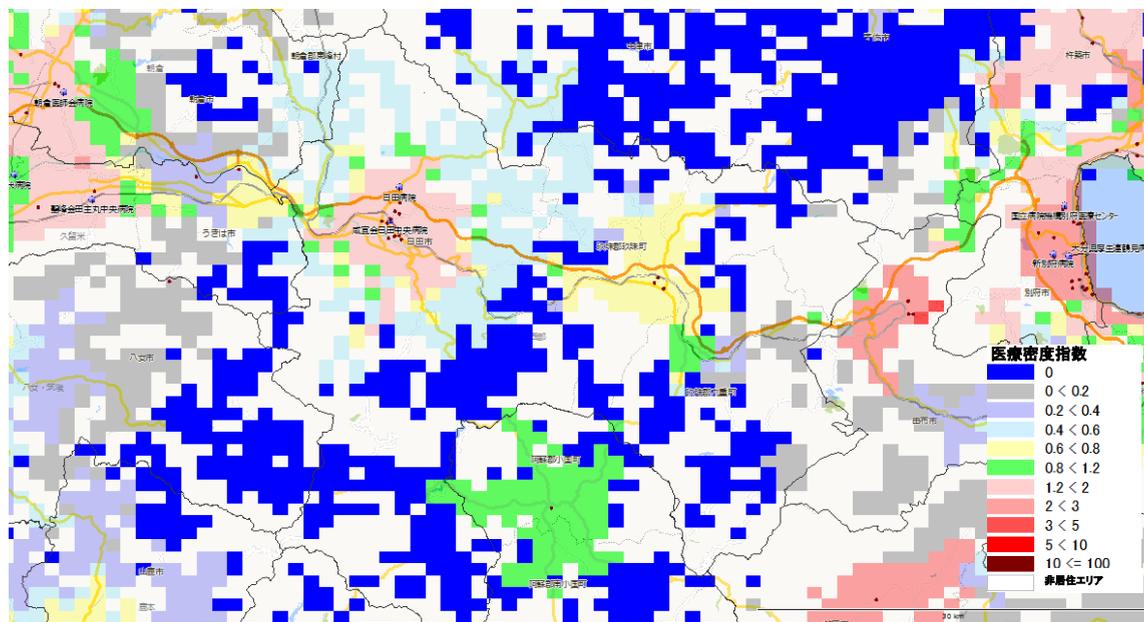
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が263床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に312床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、49床の増加、率にして19%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には366床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



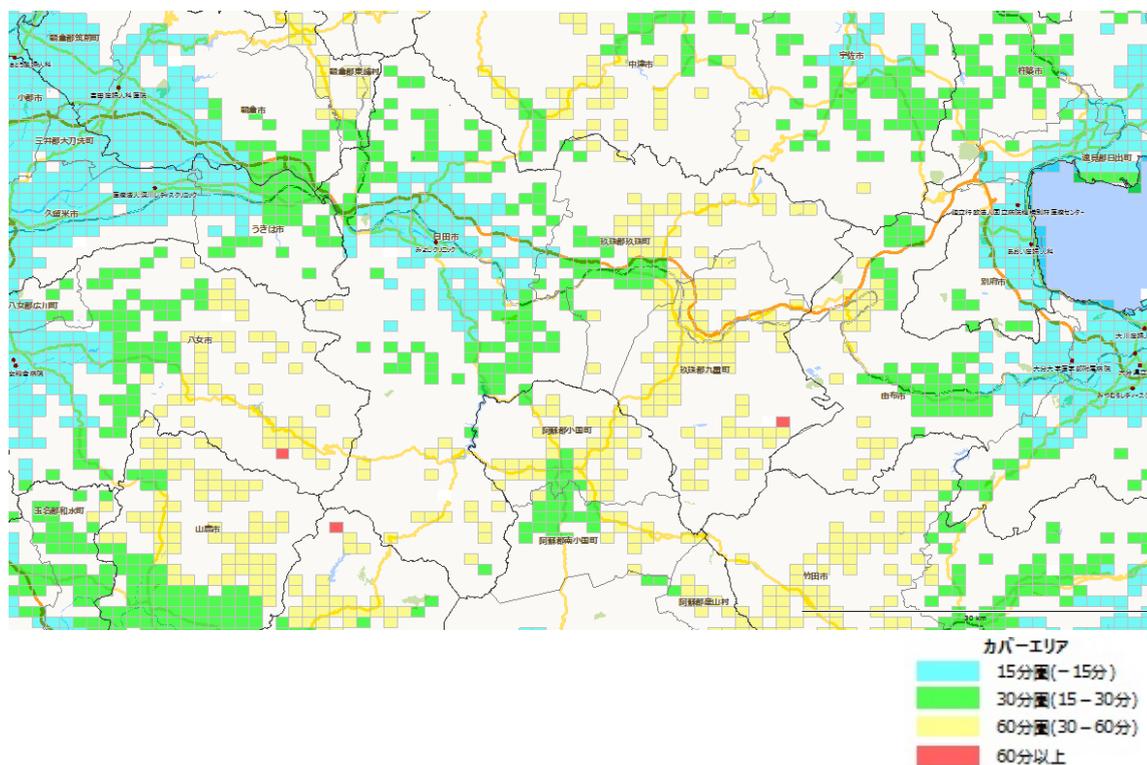
(西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

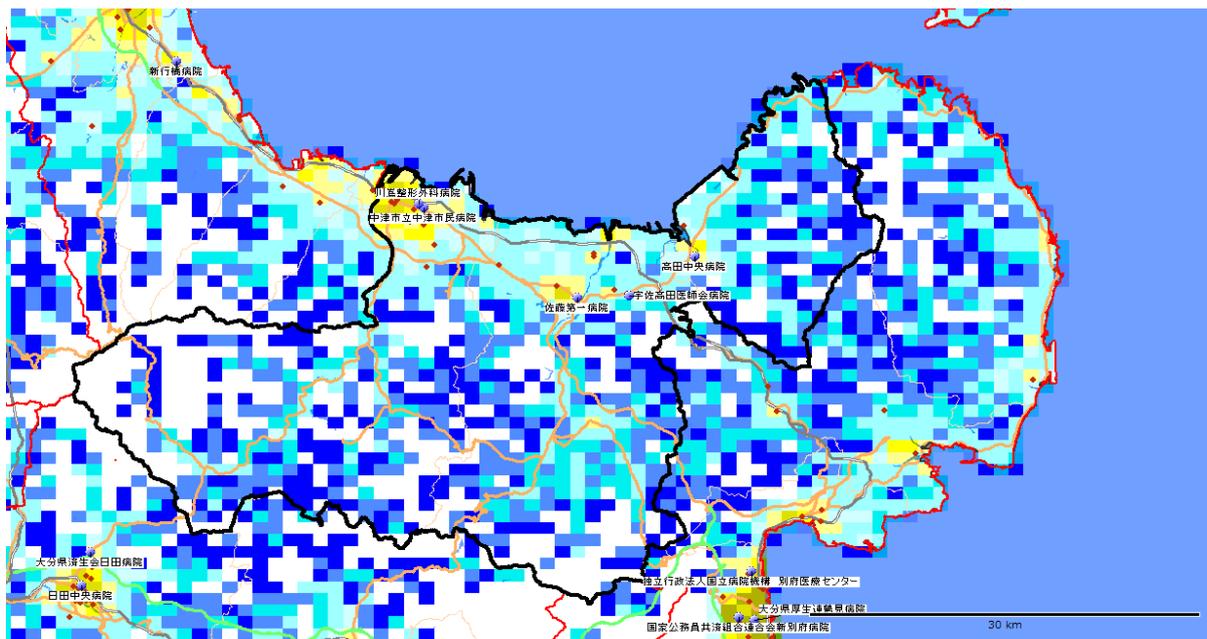
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



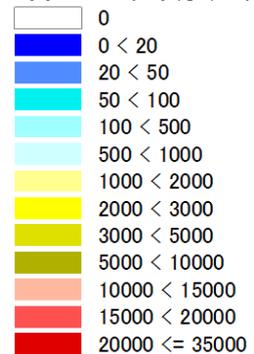
44-6. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村⁹ [中津市](#) [豊後高田市](#) [宇佐市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(中津市)は、総人口約163千人(2015年)、面積1137km²、人口密度は143人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に150千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に129千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて30千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は425千円(偏差値68)、介護給付費は259千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数44、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の中津市立中津市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2526人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1712床(偏差値51)、高齢者住宅等が814床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1954人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、361人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年170291人が、2015年に163076人と4%減少し、2025年の人口が149523人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

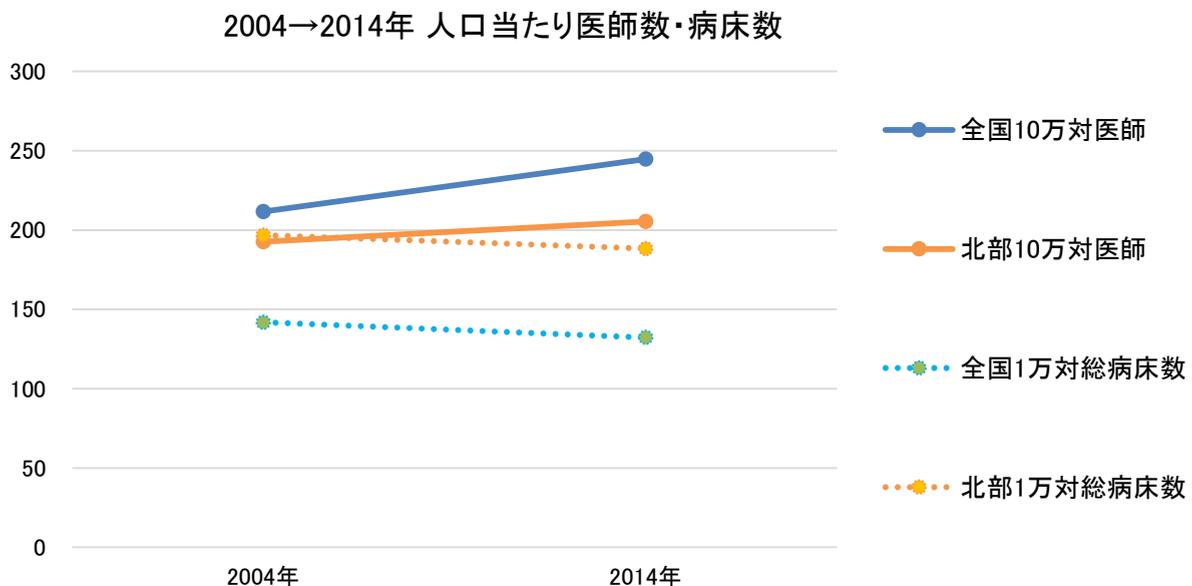
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が24(人口10万人当たり14.1病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2014年に24(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が142(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に131(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値51)と、11診療所が減少した。

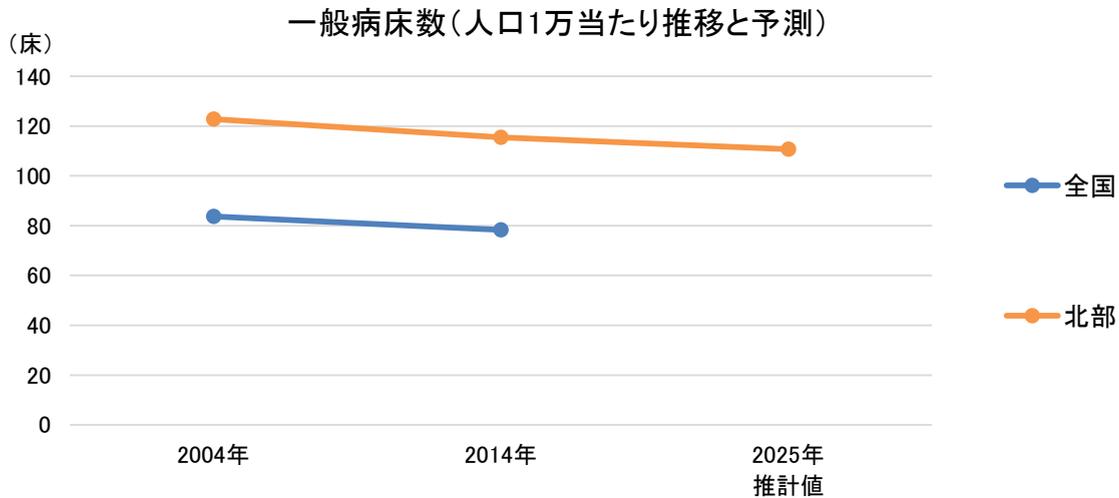
2004年の総病床数が3350床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に3071床(人口1万人当たり188(全国平均132)偏差値60)と、279床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が328人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に335人(人口10万人当たり205人(全国平均245人)偏差値46)と、7人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



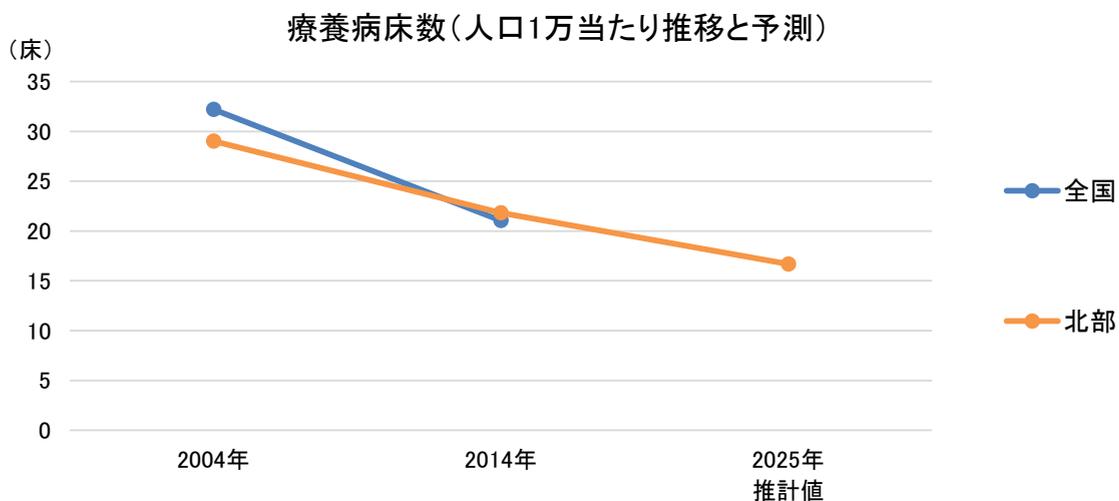
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2090床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に1883床(人口1万人当たり115(全国平均78)偏差値64)と、207床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1655床(2025年の推計人口1万人当たり111)になることが予想される。



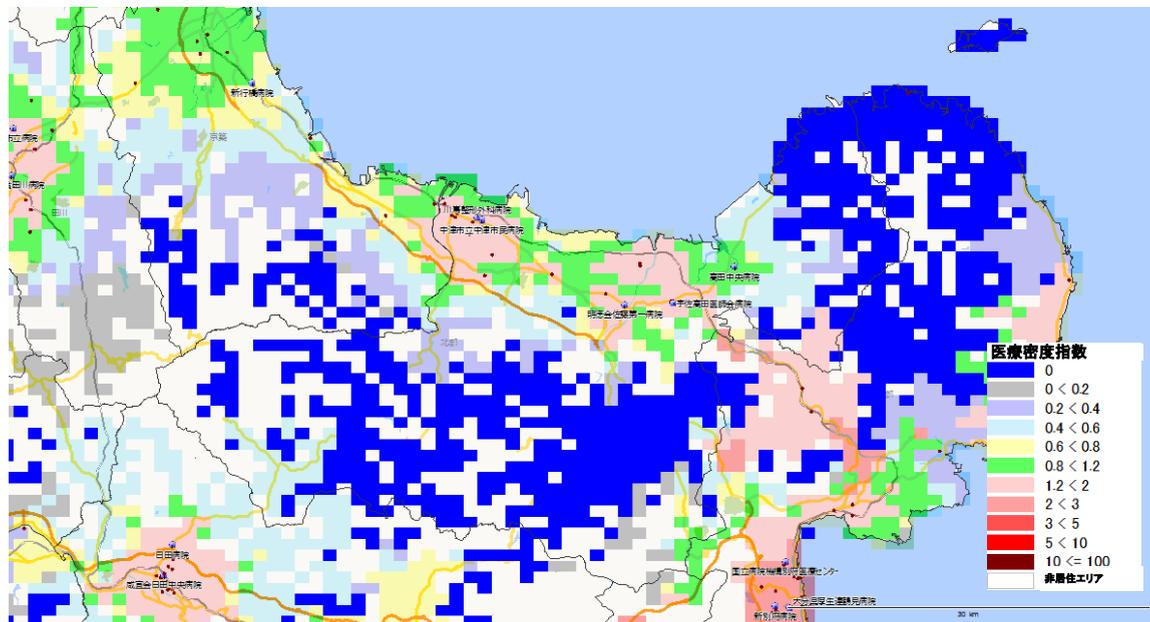
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が681床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に596床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、85床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には503床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



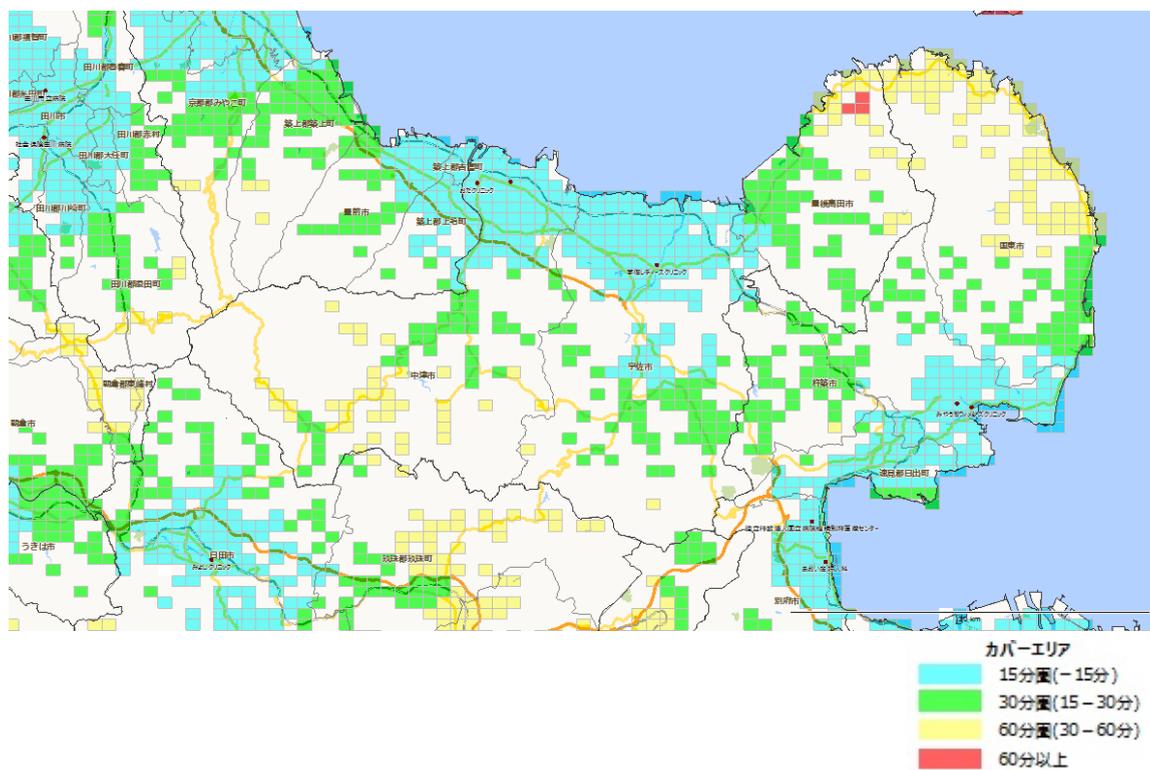
(北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表44-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。